

FFG 調査月報

We look into your eyes, lend an ear to you, and engage with you.

Top Interview

- 大森 伸昭氏 株式会社 大森淡水 代表取締役社長
- 竹下 政敏氏 竹下産業 株式会社 代表取締役社長
- 大隈 恵治氏 オオクマ電子 株式会社 代表取締役社長
- 下山 晶子氏 株式会社 ディーエスブランド 取締役会長

地域と共生する FFG

天草
博多祇園山笠



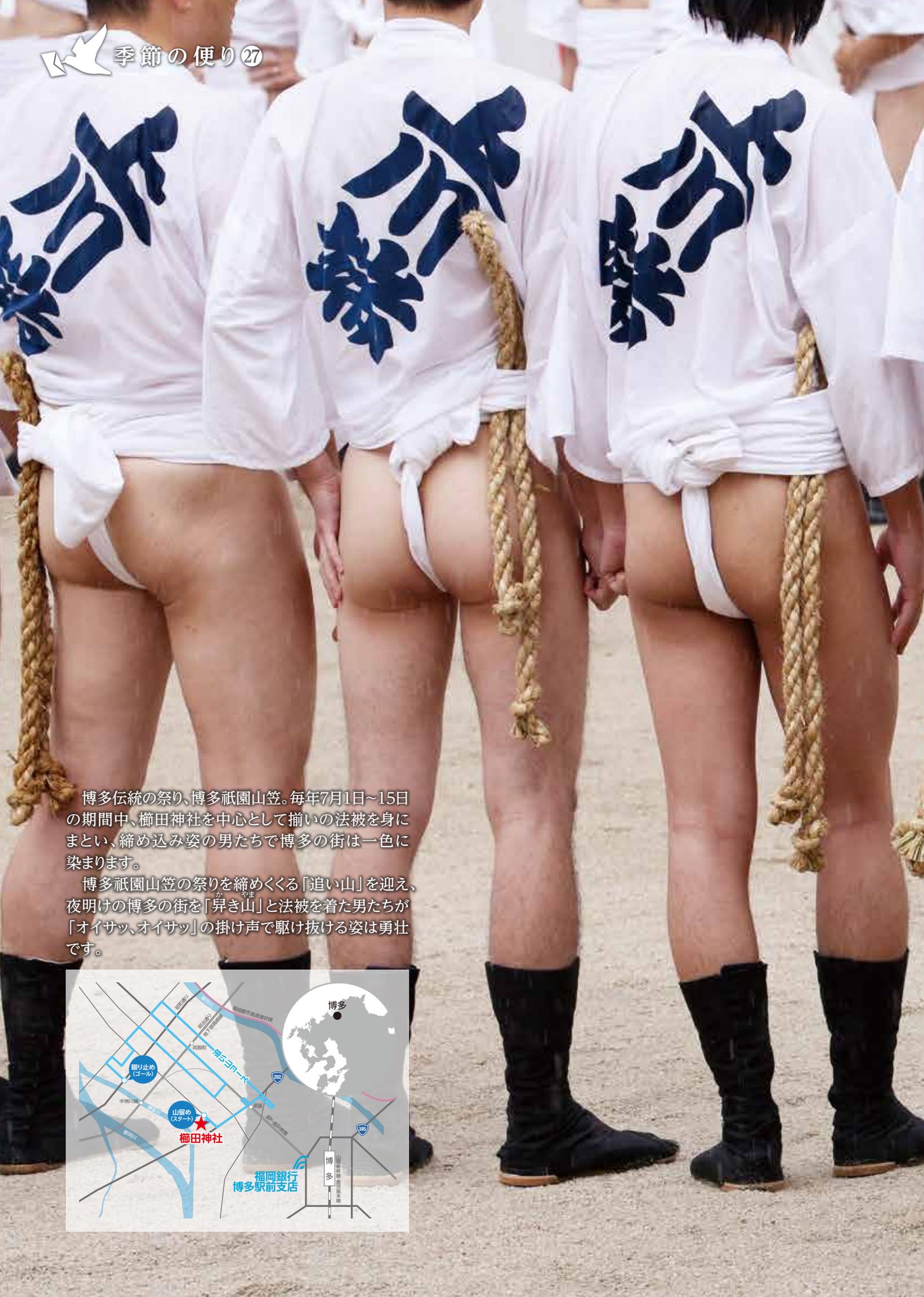
Season's Greeting

支店からの
便り

福岡銀行
博多駅前支店

今回は、福岡銀行 博多駅前支店からの夏の便りです。





博多伝統の祭り、博多祇園山笠。毎年7月1日～15日の期間中、櫛田神社を中心として揃いの法被を身にまとい、締め込み姿の男たちで博多の街は一色に染まります。

博多祇園山笠の祭りを締めくくる「追い山」を迎え、夜明けの博多の街を「昇き山」と法被を着た男たちが「オイサッ、オイサッ」の掛け声で駆け抜ける姿は勇壮です。



元祖、 カリスマ・オーナーシェフ。



草野 丈吉

長崎市出身

1840年～1886年
(満45歳没)



geppou
最新情報を携帯からも
チェック！



バター寿司が幕末の長崎の料亭で生まれたと聞いて信じる人はまずいない。フナ寿司をヒントに近海のサバを素材として考案された。異国的な称がポルトガル語の小舟の意で姿形の類似に由来すると説明されて、「長崎起源」の確かな説得力となる。和・洋・華が混然して、ここそこで近代日本の「事始め」の遺構や石碑に出会う街自体が万華鏡。西洋料理史の巻頭にその名をしるす草野丈吉と洋食店「自由亭」もまた、ハイカラ好きの長崎人の自慢である。

西洋料理と日本人。最初の伝道者は信長の時代に長崎に來航したポルトガル人、鎖国時代のその役割は出島のオランダ人や商館に出入りする人たちであった。欧米の開国圧力で揺れる時勢に出島で職を得た十八歳の丈吉もそんな日本人の一人であった。居留者の住み込み雑用人に過ぎなかったが、見よう見まねの料理が評価され、総領事の私邸や寄港艦船の厨房で修行を積む機会を得る。商館の専属コックを任されるまでになるのは彼の器量であった。

市内伊良林町の生家に洋食店・良林亭を開業するのは二十四歳の文久三年（一八六三）。酒樽に板をわたして白布を広げた食卓は六人で満席というものであったが、現価にし



旧自由亭(グラバー園内)

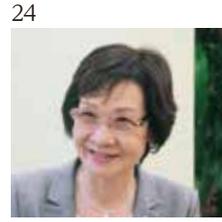


所在地：長崎市南山手町8-1

※写真提供：長崎グラバー園管理事務所

てコース二万円近い高級フランス料理並みの値段にもかかわらず、維新前夜の長崎に集う遊客で繁盛した。翌年、隣地に新装してその名も自由亭と改める。外国人をもてなす長崎奉行はじめ、薩摩の五代友厚、土佐の後藤象二郎、佐賀の佐野常民ら華客に愛されたことが腕の証であった。

さて、料理。自由亭のメニューは現存しないが、国賓として来日した南北戦争の英雄、グラント將軍の歓迎会を担当した丈吉の食器録を見るときわめて本格的な西洋料理だったことが推量できるといふ。オーナー・シェフの草分けとして文明開化の大阪、京都にホテル・料亭を展開して貴賓の饗応に才覚を発揮しながら道半ばにして四十五歳で病没した。自由亭の建物はグラバー園に復元され、「西洋料理発祥の地」の碑とともに港のにぎわいを眺めている。



2 九州を知る! マンスリーコラム ④
元祖、カリスマ・オーナーシェフ。草野 丈吉

36 地域と共生する FFG
天 草

トップに聞く!
Top Interview

6 養殖の技術革新と徹底した
生産管理体制のもと美味しい
「大森ブランド鰻」を提供します。
株式会社 大森淡水 大森 伸昭 氏
福岡銀行

46 九州の逸品
北九州・折尾名物 かしわめし弁当

12 全自動乾海苔製造装置の
製造・販売を通して
海苔生産の省力化に貢献します。
竹下産業 株式会社 竹下 政敏 氏
福岡銀行

50 DATA in 九州
今月の注目データ

18 ユーザーの“ウォンツ”を探って
新製品を開発し、これまでにない
新しい価値を創造します。
オオクマ電子 株式会社 大隈 恵治 氏
熊本銀行

52 経済動向・経済指標

76 見つけたアジア
ワーラーナシー

24 一万社が利用する
ホームページ作成ソフト
「おここうブログ」を主力に
長崎から全国へ、そして世界へ。
株式会社 ディーエスブランド 下山 晶子 氏
親和銀行

78 地域と共生する FFG
博多祇園山笠
時々刻々

88 九州の達人
大黒流 川端町 取締 奥蘭 慶



今月の表紙



博多祇園山笠

近年、山笠参加人口の減少を危惧して、地域の子供たちへ積極的に山笠を昇く技術を伝えようと子供山笠が復活しました。博多小学校「博多流」、新天町商店街「子供山笠」、千代小学校「千代流」が誕生しました。7月の最初の金土日に子供山笠の「流昇き」や「櫛田入り」が行われます。



「博多祇園山笠」に参加したFFG行員

○ 今月の一枚 「博多祇園山笠」

「博多祇園山笠」は、770

今年一枚は、「博多祇園山笠」の追い山で、奉納を終えたFFG行員（福岡銀行奈良屋町支店）の写真です。女性の行員も早朝から応援に駆けつけました。

年以上続く伝統ある祭りである「博多祇園山笠」は、7月1日から15日の追い山まで、様々な行事が執り行われます。FFGでは、福岡銀行博多支店、熊本銀行福岡営業部の行員も「博多祇園山笠」に参加しています。

FFGでは、これからも地域行事に積極的に参加し、地域の歴史や伝統を学ぶとともに、皆様とのふれあいを大切にした活動を続けてまいります。



【バックナンバーのお知らせ】「FFG 調査月報」のバックナンバーは、ふくおかフィナンシャルグループのホームページにてご覧いただけます。
<http://www.fukuoka-fg.com/>



トップに聞く!

養殖の技術革新と徹底した
生産管理体制のもと美味しい
「大森ブランド鰻」を提供します。

株式会社 大森淡水
代表取締役社長

大森 伸昭氏

取引店 / 福岡銀行 宮崎支店





▲製造工場前(左から大森社長、柴戸頭取)



南九州を養殖鰻の一大生産地へ

国内で消費される鰻の99%は養殖鰻です。ここ南九州では、国産鰻の3分の2が養殖されていますが、昔から鰻の養殖が盛んだったわけではありません。父の大森仁史(現会長)が中心となって活動し、南九州を鰻の一大生産地として育ててきました。

我が社の創業は1967年(昭和42年)、父 仁史が宮崎市千草町に開業した大森養魚場です。この頃、鰻や鯉などの養殖が全国で盛んになっていたこともあり、事業を始めました。1973年(昭和48年)からは、人気に陰りが見え始めていた鯉の養殖をやめて、需要が伸びていきそうな鰻の流通一本に絞りました。

1970年代、鰻の養殖場は全国に5,000軒ほどあり、生産量は静岡県がダントツのNo.1、2位に愛知県が続き、九州はまだまだ少ない状況でした。ところが、当時南九州ではその温暖な気候と豊

大森淡水 うなぎの里

養 殖



▲養鰻場ハウス外観



▲オリジナルの配合飼料を給餌



▲鰻の池上げ作業

食欲旺盛
ですね!



大森淡水は
100%国産鰻に
こだわっているんだ!



流 通

ここで僕たちが
育つんだよ!



養 殖 池

事 務 所

製 造 工 場

活きが
いいですね~!

食事処「うなぎ処 鰻楽」



豊富な地下水を利用した、新たな技術革新が起こったのです。これまでの養殖池は地面に穴を掘っただけのもので、ヘドロが溜まるなど水質も悪く、鰻の成長を妨げていました。新進気鋭の九州の生産者達は掘り起こした地面や壁をコンクリートで固め、全体をビニールで覆い、コンピューターを使って徹底した生産管理を行うことにしました。つまり養殖池のプラント化です。同時に、給餌や作業の機械化、そして我が子を育てるようなきめ細やかな育成管理や衛生管理を徹底することによって生産向上に励みました。仁史はそのような生産者達や飼料会社といち早くタイアップしてグループを形成することで、良質な稚魚の提供、品質や育成に優れた技術や情報の提供等を推し進めました。その結果、これまでシラスウナギ(稚魚)1kgが1年で100kg~300kgへ成長していました。一挙に800kgに成長させることに成功しました。さらに、細やかな生産管理や衛生



管理が養殖過程での死亡率を大幅に減少させ、品質も飛躍的に向上しました。こうした仁史や生産者の取り組みが大きな輪となって広がっていき、南九州における鰻の生産量は一気に増えていきました。

台頭する海外産との戦い、
ブランド化

1980年(昭和55年)頃から海外でも鰻の養殖が急増し、国内に海外産の鰻が輸入されるようになってきました。多くの安価な海外産の鰻が専門店や量販店で国産鰻として販売され、国内の生産者は価格競争で、一気に減少していきました。生産者件数は400軒を割り込み、自給率は長らく20%そこそこといった時代に入りましたのです。このままではグループの生産者が廃業してしまうと考えた私たちは本物の国産で安心・安全・最高品質をコンセプトにした大森ブランドを確立することにしました。まず、家族同然のグループ生産者以外での

食事処「うなぎ処 鰻楽」



▲匠の手で焼き上げたうなぎ



▲築200年の木材を使用した店内



▲古民家風の佇まい

ステキなお店ね!



製造工場



▲職人が鰻を一尾ずつ丁寧に割く



▲蒸し機で身をふんわり柔らかくする



▲蒲焼にして全国のお取引様に納品

おいしそう~



流通



▲蓄養プールから鰻を取り上げて選別台へ



▲鰻を手作業でサイズごとに選別



▲生きたままの鰻を全国各地に配送

「うなぎの里」は健康で美味しい鰻を届ける中核施設

私たちは「一匹一匹の鰻を大切に育て、健康で美味しい鰻をお客様の食卓にお届けし、幸せになっていただくこと」をモットーとし、国産品にこだわりながら、高品質で

鰻の取り扱いを一切止め、彼らの鰻を買い支えることに専念。そして医療レベルの衛生管理をお手本とした蒲焼製造工場を新設。同時に欧米の衛生品質審査基準を養殖場と工場に導入。トレースと品質を最大武器とした「世界一のうなぎを」合言葉に生産者と弊社スタッフのモチベーションの向上に努めました。

これまでの取り組みが実を結び、ここ南九州が日本最大の鰻生産地として、品質の良さとともに認知されるようになってきました。大森グループでは、鹿児島と宮崎の30を超える提携養殖場とともに、年間3~4,000トンもの鰻を安定して養殖しています。

次のページに続くよ~!





安心安全な鰻を安定的に供給できる体制を築いています。

2006年(平成18年)に開業した「うなぎの里」は、養殖・流通・製造工場の拠点である他、美味しい鰻を食べていただけるレストラン「うなぎ処 鰻楽」も営業しています。自社養殖場や提携養殖場で育てられた鰻は全て「うなぎの里」に運ばれ、入念な検査を実施した後、活鰻

(生きた鰻)は全国の鰻専門店に送ります。また、蒲焼き等の加工品は問屋を介さずに生協・スーパー、レストランへ直接販売しています。

うなぎの資源、文化、 産業を守るために

私たちは天然で獲れるシラスウナギの漁に大きく依存しています。

近年その漁も減少しており社会的な関心も高くなっています。私たちの使命は100年後もこの伝統ある食文化、資源、そして産業を残していくことにあると考えています。創業来の40年間減少し、高騰を続けるシラスウナギに対して、少ない量でいかに大きく育てるか、挑戦の連続でした。創業当時、1トンの成鰻を育てるのに100kgのシラス

ウナギを必要としていましたが、現在では800g〜1kgのシラスウナギで育てることができます。さらに市場、流通改革を進めていく事で鰻1尾⇨1人前の時代から特大鰻1尾⇨2〜3人前へと進めてきました。少ない尾数でより多くの需要に応えるための取り組みです。グループ形成時より、取り扱う数量を伸ばさず価値を高めていく事に注力してきました。

他産地との協力も必要です。いくら私たち九州が資源を大事にしても他の地域や海外業者がシラスウナギを獲りつくしてしまえば意味がありません。これまで競争関係にあった東海地域や諸外国との交流を積極的に行い、お互いを認め合いながら、資源効率の良い商売を持続していくことの有用性と重要性を確認し、資源と産業の持続可能なバランスについてパートナーシップをもって知恵を出し合っています。

また、大森グループのNPO法人「セーフティ・ライフ&リバー





（理事長 大森仁史）は、2013年（平成25年）、鰻研究施設「国際うなぎLABO」を完成させました。この施設は、謎が多い鰻の生態を解明することを目的とし、世界的に有名な日本大学の塚本勝巳教授（※1）に所長を務めて頂いています。多様な研究により稚魚不足の解消や完全養殖の確立に期待がかかります。

さらに、鰻の全ての部位を有効に活用するため、サプリメントの開発も進めています。栄養などの検証に2年を費やし、商品化の準備が整いました。毎日、鰻を食べるのは難しいですが、DHAやEPAを豊富に含んだ鰻のサプリメントは簡単に摂取でき、皆様の健康な身体づくりを支えてくれるはずです。

鰻は万葉集にも記されている食材であり、1000年を超えて受け継がれた日本の食文化です。これからも美味しく安心できる鰻を全国の食卓へお届けしていきます。（※1）塚本勝巳教授：東京大学大気海洋研究所教授として長年にわたり鰻の回遊と生態解明の調査に従事。2009年に世界初となる天然鰻の卵を発見。「世界のウナギ博士」と称される。



▲最前列左端から8番目より安永支店長（福岡銀行）、大森会長、柴戸頭取、大森社長、大森副社長

◎インタビューを終えて



福岡銀行
取締役頭取 柴戸 隆成

養殖池のプラント化や水質検査の機械化にいち早く取り組み、南九州を全国一の養殖鰻生産地へと育ててこられました。

完全国内生産で、徹底した生産管理のもと養殖された大森ブランドの鰻は、「食への安心」の声が高まる中、多くのお客様に愛されています。

歴史ある鰻の食文化を未来へと継承し、これからも美味しい大森ブランドの鰻を全国の食卓へ届けていかれることを期待いたします。



トップ
に聞く!

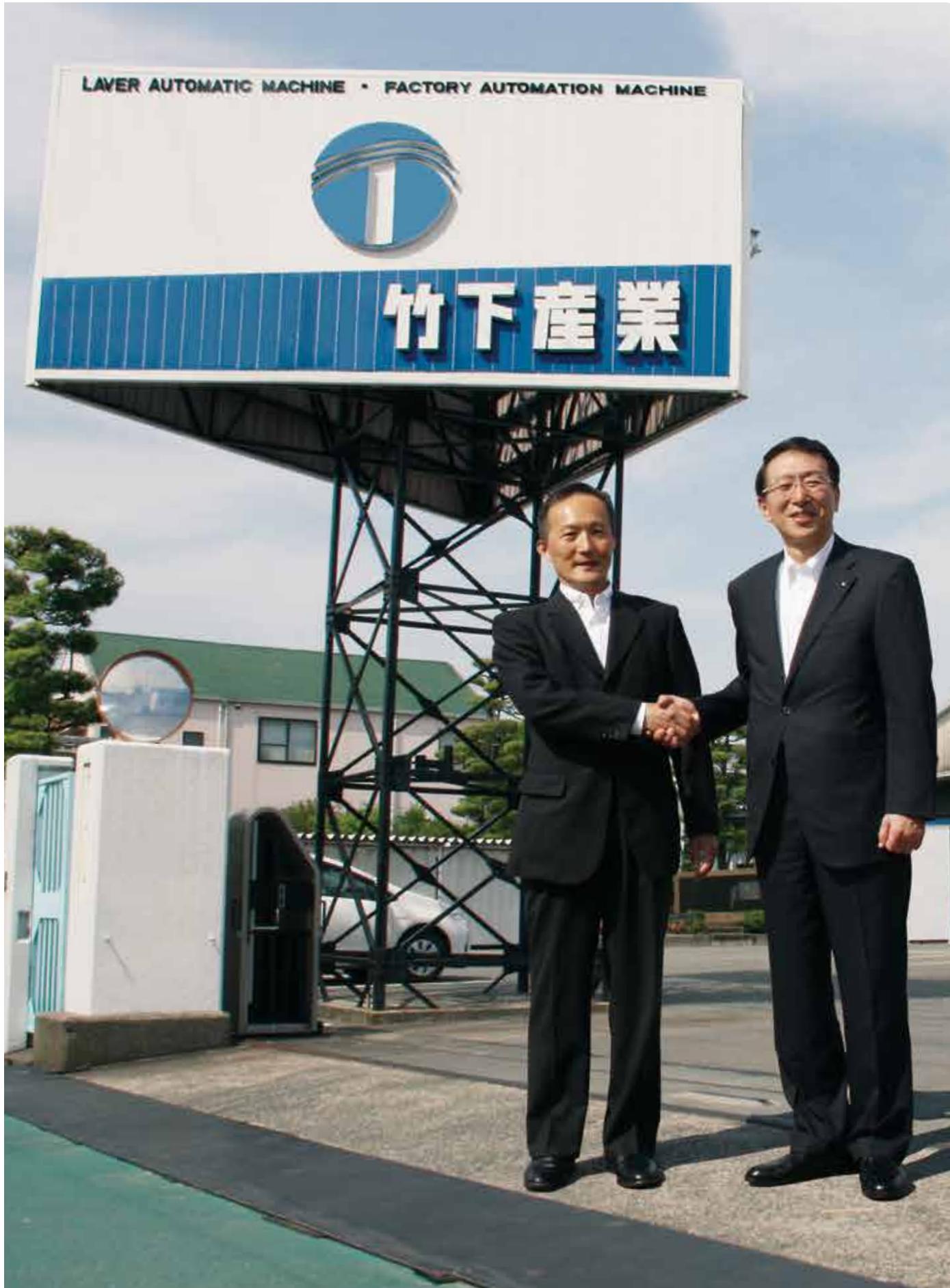
全自動乾海苔製造装置の
製造・販売を通して
海苔生産の省力化に貢献します。

竹下産業株式会社
代表取締役社長

竹下 政敏氏

取引店 / 福岡銀行 柳川支店





▲本社工場前(左から竹下社長、柴戸頭取)

海苔生産の自動化に注力

1960年(昭和35年)頃、私の祖父竹下俊造^{しゅんぞう}は農業用機械のトラクターなどを製造する竹下鉄工(株)の副社長を務めていました。しかし、大手農機メーカーの再編の波に飲み込まれ、竹下鉄工(株)は発動機メーカーから資金支援を受けることになりました。俊造はそのまま会社に残ることもできず、退任して新たな道を歩むことを決意したそうです。

そこで俊造が目をつけたのが、有明海で盛んになりつつあった海苔養殖に用いられる機械の開発でした。昭和30年代、海苔の生産といえば、手作業が当たり前だったので、これまでの機械製造のノウハウを活かし、海苔の生産を自動化できないかと考えたのです。入念に市場調査を実施し、家族とも協議を重ねて1965年(昭和40年)、竹下産業を創業、乾海苔製造装置の製造を開始しました。

美味しい海苔が届くまで

2 乾海苔の加工：トライスター(全自動乾海苔製造機械)

メンテナンスも
お任せ
ください!!



1 養殖海苔の摘取



海で養殖された海苔の摘み取りは10月下旬から4月にかけて行われます。

《自社製品》
トライスター1台で
海から採った海苔を
ラクに加工できる!



製造技術、技能の
向上に努めています。



竹下会長



竹下社長

海苔生産機械
メーカーとして常に
先端を走っています。

まったくゼロからのスタートでしたが、俊造とともに竹下鉄工(株)を退職した技術者2名が入社してくれたおかげで、規模の小さい海苔業界にあっても我が社の機械技術は高い水準にあったようです。設立当時5人だった社員も10年しないうちに60人に増えるなど、事業は順調に伸びていきました。

海苔は、海から採った後、「漉すく(※1)」「脱水」「乾燥」「剥ぎ取る」という加工工程を経て商品化されます。乾燥は特に重要で、機械化以前は、晴れの日に一家総出で天日干しを行い、雨が降ると乾燥できず品質にも大きく影響していました。昭和40年代、日本の海苔生産量は年間約30億枚程度(1枚・縦21cm、横19cm)でした。海では海苔の養殖技術が発展し、陸上では乾海苔製造機械の登場により昭和50年代には100億枚まで増加しました。

しかしながら、バブル期の終焉にともなう海苔の贈答需要低迷



もあり、近年では生産量は80億枚程度に減少しました。零細な生産者は廃業をやむなくされ、海での養殖規模拡大と機械化省力化を図った生産者が日本の海苔生産を支えています。昭和40年代には全国に18社あった乾海苔製造機械メーカーは、現在では我が社を含め3社が残るだけとなりました。このような中において我が社は独自の製品開発に取り組み、市場シェア50%を誇っています。

(※1) 漉く：生海苔を小さく刻み水に溶き、海苔質の上に置いた枠に流し込み海苔1枚の形状に成形する

数種の特許を取得した「トライスター」が主力製品

我が社の主力製品は、全自動乾海苔製造機械 製品名「トライスター」です。生産量・作業場・海苔生産地域に合わせた多数のラインナップを揃え、良質の海苔を生産するために必要な周辺機器

海苔生産者から消費者のもとへ



小売店等で海苔を購入した消費者が、家庭で海苔を食べます。

加工メーカーで加工された海苔は、全国の小売店に運ばれます。

加工メーカーに入札された海苔は、工場で味付けのりや焼のり等に加工製造されます。

出荷された海苔は各漁連で等級付けされ、共同販売場へ入札が行われます。



▲見学風景



▲製造風景▲



を充実させることで、乾海苔生産のパートナーとして多くのお客様から好評を得ています。最大の機種は高さ2.6m、幅4.4m、全長17.5mという業界最大サイズで重量は30トン近くあります。一枚3グラムの繊細な海苔の加工をこなし、1時間当たり1万枚を超える乾海苔を生産します。

このトライスターは複数の特許を取得していて、漉き機の開放機構はその1つです。食品衛生に配慮し、漉き機部分を上下に開放することにより、清掃作業を容易にしました。また海苔の漉きむらをなくし、製品の品質を向上させることにも貢献しています。

また、アフターサービスについても充実させています。海苔は夜間に採ると良質なものができるとありますが、24時間いつでも機械のメンテナンスが出来る体制を整え、お客様の満足度向上に努めています。



製造技術・技能の向上で目指す 独自性ある機械づくり

製造機械分野では、独自の特徴を出し、競合他社と差別化を図らなければなりません。そのため、従業員に対して製品の改良提案を奨励しています。現在は従業員から次々と積極的に意見が出ています。

また、製造工場は最新式の設備を整え、「板金加工」「機械加工」「溶接工程」「塗装ライン」「組立工程」があり、加工から組立工程まで一貫して自社で行っています。高速精密旋盤や三次元CADなど各種設備も充実させ、より良い製品づくりに努めています。

2度の大地震の復興に尽力

1995年(平成7年)1月17日に起きた阪神・淡路大震災では、瀬戸内海の家産業者が大きな打撃を受けました。我が社

は兵庫県明石市に営業所を構え、淡路島に出張所(現在は閉鎖)を設けました。朝方電話で甚大な被害状況だという知らせを受けました。すぐさま食料やヘルメットを準備し、本社から災害救援車両を準備し従業員を派遣しました。震災翌日には淡路島に到着し、すぐさま人命救助と機械の補修作業に取り掛かりました。漁期真っ只中、瀬戸内海は海苔生産のピークを迎えていました。海苔は生き物、待つてはくれません。機械が稼働しないと、海苔の生産ができません。お客様が危機的状況というところで、修理は全て無償で行いました。我が社の機械は大型なので、幸いにして横転などの大きな被害は少なく、復旧作業は思っていた以上に早く完了させることができました。

2011年(平成23年)3月11日に起こった東日本大震災では、宮城県の家産業者は津波による壊滅的な被害を受けました。海

苔の加工場は沿岸部に位置しているため、津波により9割以上の機械が被災し、7割程度の加工場は建物ごと跡形もなく流出しました。生産者は国の復興支援制度を活用し、我が社も最優先で機械の生産や、修理を実施し、地震発生翌年には海苔の生産ができるまでに回復しました。

技術を応用して

他分野の機械づくりにも

アプローチ

海苔の生産者からもっと喜んでいただけるように、今以上に製品開発力を磨いて海苔生産の省力化に貢献することを目指しています。

我が社は以前、い草の乾燥機を開発生産し、他の自動機も製作した実績があります。また住宅メーカーの協力工場として、戸建住宅の住宅ユニットも量産しました。海苔生産機械の自動化で培った技術を応用して、他分野の自動

化を図りたいと考えています。分野は特に決めていませんが、できればどの会社も目を向けていないニッチな産業を狙いたいと思っています。

かつて海苔は家庭で頻繁に調理されていた、デパートの贈答品としても上位にランクインしていました。最近は、海苔の消費は家庭内調理や贈答用途から、コンビニや回転寿司店などの業務用と呼ばれる市場に中心を移してきました。食べておいしい食品という位置づけに加え、葉酸やタウリンなど栄養成分を多く含む健康食品としての価値を消費者に理解していただくことが今後の海苔業界にとっての課題だと考えています。

周囲を海で囲まれ、限られた国土資源の中で生きる日本の産業は、高精度・高性能の製品づくりを使命としてきました。我が社も、海苔の生産者の生産性向上を図るために、更なる技術開発に取り組んでまいります。



▲前列左3番目から野田取締役、竹下会長、竹下社長、柴戸頭取、西依支店長(福岡銀行)、柘山取締役

◎インタビューを終えて



福岡銀行
取締役頭取 柴戸 隆成

有明海産の海苔はもちろんのこと、日本の海苔産業発展の一翼を担ってこられました。

2度に渡る大震災での貴社の対応は、海苔の生産業者のことを第一に考えての行動で、高い企業精神の表れだと思います。

これからも美味しい海苔を日本の食卓に届けていかれ、益々発展していかれることを期待いたします。



トップに聞く!

ユーザーの“ウオント”を探って
新製品を開発し、これまでにない
新しい価値を創造します。

オオクマ電子株式会社
代表取締役社長

大隈 恵治氏

取引店 / 熊本銀行 託麻支店



竹下頭取 事業の概略をご紹介します。
やう。

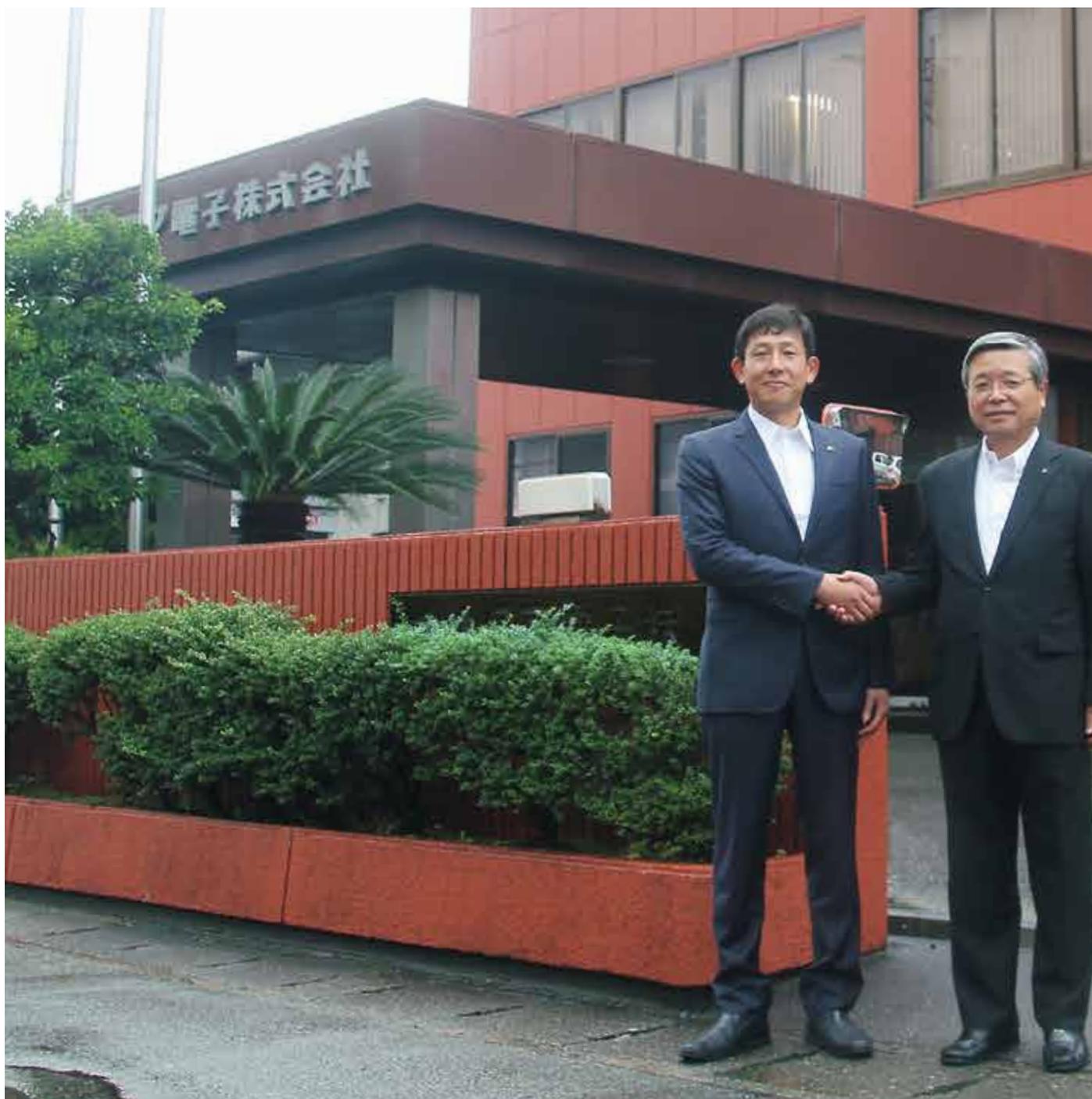


大隈社長 我が社は、電子回路の設
計や画像処理を得意とす

る電子機器メーカーです。電子制
御ユニットやコンピュータ制御ユ
ニット等を製造し、主に装置メー
カーに納入しています。

我が社の開発した製品は我々
の生活を支えており、例えばス
マートフォンの液晶ディスプレイ
がきちんと動作するかチェックし





▲本社前(左から大隈社長、竹下頭取)

たり、ダムの警報表示により安全な暮らしを確保したり、電車の接近を音声やパトライトでお知らせし安全を確保したり、幅広い分野で活躍しています。

創業以降の歴史をお聞かせください。

我が社は1973年(昭和48年)に、私の父・大隈秀義(現会長)によって創業されました。詳しい創業の経緯は聞かされていませんが、大阪の大手企業に勤めていた父の「いずれ故郷の熊本で起業したい」という志が、人との出会いによって大きくなったことが理由のようです。

最初は4畳半の借家でスタートし、メーカーの下請けとして主に電子部品の製造を行っていました。その後、1975年(昭和50年)オオクマ電子株式会社を設立。自社ブランド製品の製造を目

の技術で正確に管理。

医療機関
向け

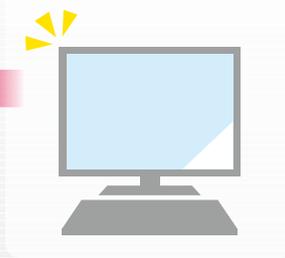
自社ブランド製品

SPASER

2 材料を使用済み
ボックスで回収



1 手術予定を
パソコンに受信



手術実施



◀見学風景▶

SPASER導入例 手術室

手術中に使用した
注射薬の種類や量を
記録するのが
大変...

良い製品が
ありますよ！

使い終わった
注射薬を
投入すれば
データ化
してくれるので
作業が
ラクラク！

3 1
4 2

導入して
手術中や手術後の
記録作業の
負担が軽減されました！

標に事業規模を拡大し、多種にわたる事業を手掛けていきました。そうした中、私は2001年（平成13年）に6年間エンジニアとして勤めていた航空機関連の電子機器メーカーを退社して我が社に入社しました。父が目標としてきた自社ブランド製品に対する想いと、6年間最先端技術の設計、開発を手掛けてきた私の入社によって、ついに自社ブランド製品の製造をスタートさせることになりました。

その自社ブランド製品の 하나가医療機関向けの「SPASER」で、我が社の主力製品となっています。

SPASERは、医療機関において手術で使った薬剤の種類や数を自動的に識別し記録する装置で、看護師らの手術中の記録作業を効率化し、保険の未請求を防ぐことに貢献しています。使用済の注射薬や薬剤の空き容器を

まとめてSPASERに投入するだけで、装置内の「バーコード読み取り・ラベル認識画像処理」によって薬剤の種類や量をデータ化し、患者の電子カルテに薬剤の使用履歴を正確に記録できます。

2013年（平成25年）9月、優れた新製品を開発した地場企業を認定する「熊本市ものづくり大賞」を受賞。今年3月には、熊本県工業連合会による地場企業の優れた技術力を表彰する「熊本県工業大賞」を受賞しました。

自社ブランド製品の立ち上げにはご苦労も多かったのではないのでしょうか。

開発の費用面や人材面に加えて、商標権など各種法律の対応、販売体制の確立など、様々な苦労がありました。

特に、製造業である我が社にとって販売体制の確立には苦労し

コスト解析&経営改善

経営者向けメリット

SPASERシステムの導入により、材料を正確に管理し、あらゆる角度からコストの解析、検証が可能になります。さらには請求漏れを防止し病院経営の健全化を可能とします。

業務軽減

手術室看護師向けメリット

手術後の看護師による材料の管理をSPASERシステムが担います。それにより入力作業などの時間が大幅に短縮します。

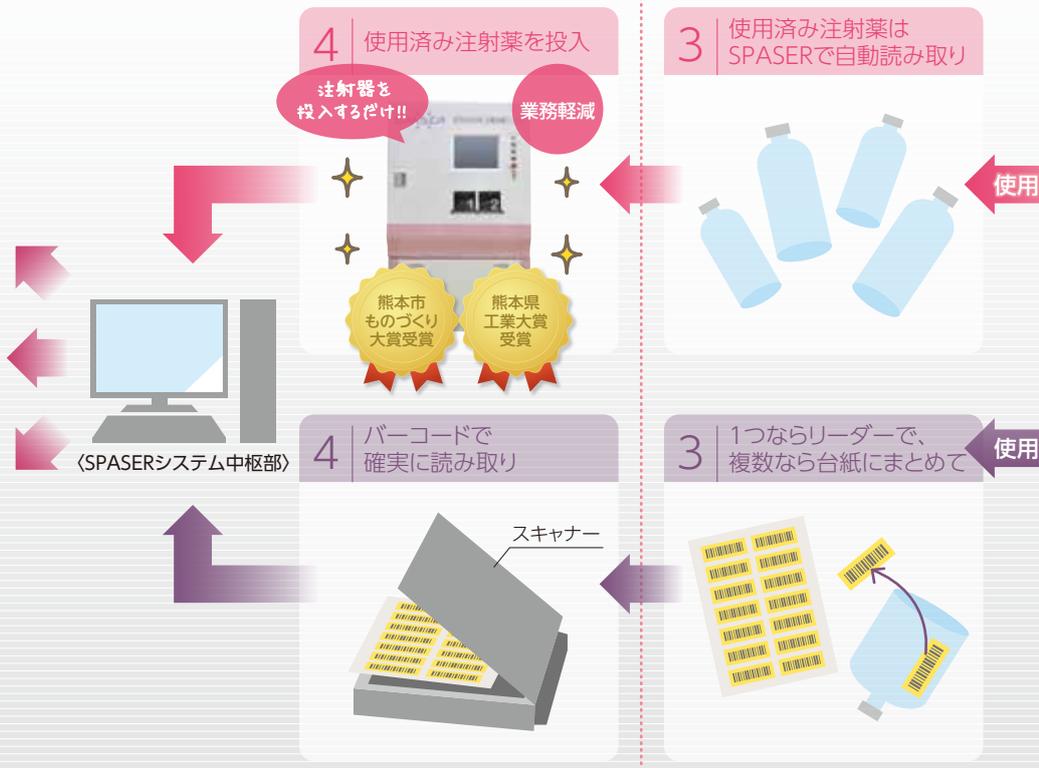
リスクマネジメント

薬剤管理者、医事請求課向けメリット

どのような注射薬も正確に自動で読み取ることができ、薬剤管理においてのミスを撲滅します。また、実施情報を自動で画像記録します。

全てを事後で管理するので正確です!

使用済みの医療材料を独自



ました。最初は医療関連商社への販売委託を行っていたのですが、これは大失敗に終わりました。商社は開発したての「まだ目に見えない価値」つまり「売れるか分からない製品」を扱うのに消極的で、熱意や意欲が小さかったからです。

私は「製造業も自ら販売しなくては成長できない」と確信しました。そこで、私はドクターをはじめ看護師、薬剤師、医事関係者とコミュニケーションをとることから始めました。会話の中の医学用語を理解するために看護師・薬剤師の受験用テキストを読みこんだこともありました。そうして築いた人脈を基に、独自に販路を開拓していったのです。

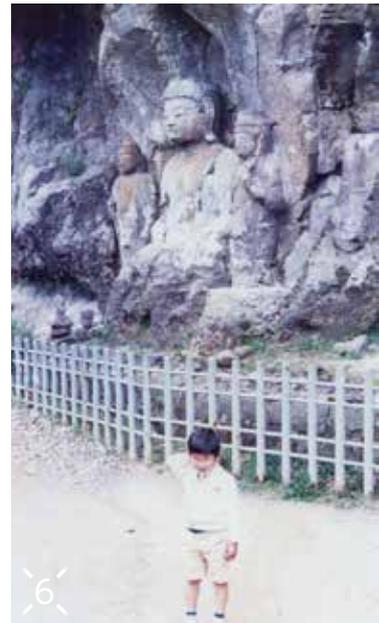
御社は保守メンテナンスを大切にしていると聞いています。

はい、保守メンテナンスは必ず

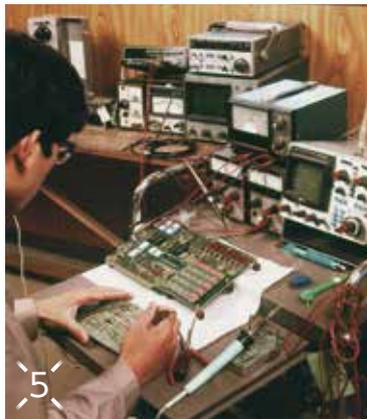
自社の社員が行います。それは、保守メンテナンスが顧客との最大の接点で、その現場での会話から新たな企画が生まれ、開発が始まると考えるからです。

顧客との対話で重視しているのは、必要が顕在化している「ニーズ」ではなく、まだ顧客自身も明確に意識していない段階の「ウォンツ」を引き出すことです。具体的なニーズに基づいて開発するのでは遅く、競合品が既に存在しているか、すぐに出てきてしまえば価格競争になります。「ウォンツ」をいかに引き出し、事業コンセプトと技術に結びつけるまで持つていかかが重要だと考えています。

それを実践するための人材育成も大切です。「好きこそものの上手なれ」、エンジニアの一人一人が何をしたいのか、その意欲を尊重し全面的に挑戦したいことを伸ばしてあげる場を提供しています。得意分野を持った熱いエンジ



オオクマ電子 思い出の写真



①昭和51年:現住所に第1工場、昭和52年:現住所に第2工場完成②第1工場内設計室の様子。写真中央が26歳の大隈部長(昭和52年)③本社ビル増築(現在の本社ビル)完成(昭和58年)④⑤創業当時の作業風景⑥幼少期の大隈社長(昭和53年)⑦創業者の大隈秀義氏(現 会長)(昭和58年)⑧オオクマ電子株式会社 30周年記念パーティ(平成17年)

医療業界におけるオオクマ電

最後に、今後の注力点や将来
展望をお聞かせください。

ニアたちが、他社にはない新しい
ものを開発しようとする常々にチャレン
ジしています。

他社にはない
技術力を強みに
最先端のものづくりに
チャレンジし続けます!



▲大隈社長



▲大隈会長



▲前列左3番目から貝田課長、大隈社長、竹下頭取、大隈部長、小材支店長(熊本銀行)

子ブランドを高めながら自社ブランド製品であるSPASERを今後5年間で100の病院に納入することを目指します。また米国での販売にも力を注いでいきます。併せて新商品開発にも注力し、5年以内に新たな製品を事業化したいと意気込んでいます。

中長期的には業界のリーディングカンパニーへと進化し、いずれかの分野で世界一になることです。単なるモノづくりでは終わらない、全く新しいビジネスモデルを創出しその価値を売っていく、そんな未来像を思い描いています。

◎インタビューを終えて



熊本銀行
取締役頭取 竹下 英

優れた技術力とたゆまぬ努力の結果、熊本を代表する電子機器メーカーに成長しておられます。

お客様へのアフターフォローを大切に、そこで得た“ウオンツ”を新たな企画や新製品開発へと繋げる姿勢に、モノづくりに対する意気込みを感じます。

今後も我々の生活を支える電子機器を開発し続け、益々ご活躍されることを期待いたします。



トップに聞く!

一万社が利用する
ホームページ作成ソフト
「おりこうブログ」を主力に
長崎から全国へ、そして世界へ。



吉澤頭取 貴社の歴史は10年。躍進の早さには驚くばかりです。

DSBRAND
DIVERSITY & SYNERGY

下山会長 長崎県長崎市で2005年(平成17年)11月1日に

創業し、企業のホームページ(以下HP)の企画・制作を主要事業としています。当初は、息子の下山大祐(社長)、専務の白濱と私の3人で、「お客様のお役に立ちたい」という思いを持ってスタートしました。

経営者だった夫(下山克己)が、自らの会社を福岡証券取引



株式会社 デイジーエスブランド
取締役会長

しもやま せいこ

下山 晶子氏

取引店 / 親和銀行 住吉支店

所Qボードに上場を果たした直後、2003年(平成15年)に志半ばで急逝してしまいました。大祐は父の志を引き継いで、これまでご支援頂いた方にも恩返しができるよう、自分にできる精一杯のことを頑張りたいと、それまで勤めていた複合機メーカーを退社し、新たな会社を立ち上げたのです。

「お客様のお役に立ちたい」という熱い思いを実現するために着目したのがHPでした。企業の顔とも言えるHPが、素敵なデザインで目を引くものであれば、お取引先企業の業績アップに貢献できるはずだと考えたのです。そして、どのソフトよりも使いやすく、お客様のことを考えたHP作成ソフト「おりこうブログ」を開発しました。まず長崎の企業から販売を開始すると、2008年(平成20年)6月には全国展開を開始、現在では、全国で約1万社強の企業にご利用頂いています。



▲本社(左から下山会長、吉澤頭取)

また、海外にも目を向け、2012年(平成24年)10月のタイを皮切りに、ベトナム、シンガポール、マレーシアと、これから市場拡大が期待できる東南アジアへの展開を開始しました。

「おりこうブログ」はとても使いやすいと評判ですね。

「おりこうブログ」は、ブログと同じくらいの手軽さでHPを作成できるソフトを目指して開発したもので、特長の一つが、シンプルな操作性です。10年ほど前のHPは制作に時間と費用がかかるうえ、更新や管理も煩雑はんざつでした。「見たまま編集機能」という、Web上に公開する画面そのままの状態まゝで編集できる機能を持っており、手間なく簡単にHPの作成から更新までを行える点が大変好評を頂いています。

また、当社のデザイナーが制作した最新テンプレートデザイン



中から好きなデザインをセレクトし、ワンクリックでサイトのデザインを切り替えることができ、季節感のある演出も可能です。より凝ったHPにしたいと考える企業には、当社のデザイナーが、オプションでオンリーワンのHPを製作します。アフターフォローも万全で、最低3カ月に1回の頻度で企業のHP担当者の方とコンタクトをとり、様々な質問やご要望にお応えしています。

おかげさまで、おりこうブログシリーズは10,000社にご利用いただいております。当社ソリューションは、日本全国・アジアの多業種のお客様に選ばれています。



ホームページ作成・運営アプリケーション

おりこうブログCS

おりこうシリーズで定評のある“シンプルな操作性”をさらに進化させ、直感的な「見たまま編集機能」を搭載。簡単にホームページの作成から運営まで行えます。また、パソコン向けのサイトを、スマートフォンからの閲覧にも最適な表示に自動的に変換します。



デジタルカタログ作成アプリケーション

おりこうコピーログ for RICOH

リコーの複合機を活用しお手元の紙文書からデジタルカタログを作成するアプリケーションです。また、パンフレット作成機能を搭載しており、現在パンフレットをお持ちでない方でも簡単にドキュメントを作成することが可能です。



非公開型SNS クラウドソリューション

おりこうニュース! for RICOH

パソコン・スマートフォン・タブレット・リコーの複合機から円滑なメッセージ配信とドキュメント管理を行うことができるクラウドソリューションです。複合機からは紙文書の電子化と情報共有を行うことができます。

新しいバージョンや関連新商品の開発はいかがでしょうか？

商品は、お客様の声を基に改良を重ねています。2010年（平成22年）頃からスマートフォンやタブレットが急速に普及したことに対応し、パソコン用のサイトをスマートフォンや携帯電話向けに、最適な表示に自動変換する機能を備えた「おりこうブログCS」を開発しました。

これからの時代は、Webマーケティングの時代と言われており、CMS（※）にマーケティング機能を求める傾向が強まっています。これまで、HPへのアクセス状況を解析するツールを活用するには、難しい知識が求められていました。そこでアクセス状況を簡単に、視覚的に把握できる新バージョンの「おりこうブログ」の開発を進めています。同時に、解析結果をお客様にお知らせすることで、コンサル的なサポートを

行うディレクターの育成を図っているとところです。

今年2月には、2009年（平成21年）に開発された「おりこうブログ」を改良し、サンプルの文章や画像を差し替えるだけで、誰でも簡単にWeb上のカタログやパンフレットを作成できる機能を追加しました。元々、既存の紙媒体をスキャンするだけでデジタルカタログを自動生成し、まるで本を見るかのようにWeb上で閲覧できるのが特長で、オプションのショッピングカート機能を使えば、買い物ができるネットショップを簡単に開設できました。今回の改良で、パンフレットの作成から運用まで一貫して行っていたことができ、可能になりました。また、必要な時に必要部数だけを複合機で印刷できるので、カタログの外注コストを削減できる利点もあります。

（※）コンテンツマネジメントシステム：ウェブサイトの制作や運営を容易にするシステム

「おりこうブログシリーズ」を導入すると…



経営方針としてCSとES向上に努めておられると伺っています。

創業以来、私と社長が大切にしているのが「お客様」と「社員」であり、CS（お客様満足度）向上スローガンを「すべては、お客様の

ために」、ES（社員満足度）向上

スローガンを「みんなが主役!」とし、企業理念「持続的成長と社会貢献」を掲げています。また、社訓を「感謝・感動・笑顔」とし、役員自らが実践して社員の手本となるように努めています。

当社のお客様は、商品をお使いになる企業だけではありません。お客様のHPを閲覧される方、利用

される方も私たちのお客様だと考えています。HPの製作だけが当社の業務ではなく、「おりこうブログ」を通じて、ユーザー様(企業)と

そのお客様の間でWin-Winの関係構築をお手伝いをすることも私たちの仕事なのです。

また社員に対しては、常に「社員一人ひとりの頑張りが報われる会社でありたい」という思いを持ち続けています。

お客様により良い商品やサービスを提供するには、商品企画・デザイン開発、販売、サポートなど、それぞれの部門で努力が必要

であり、その積み重ねが会社を支えています。

その努力は、営業は業績に、開発は商品に、サポートはお客様の心に直結し、目に見える形で現れます。そこに社員各自がやりがいを見いだしイキイキと働くことで、「みんなが主役!」の会社を目指しています。その努力に応じて報酬、労働環境、福利厚生等の充実という形で社員に還元し、それを更なるやる気に繋げ、ひいてはお客様へのより良い商品・サービスの提供に結びつける、そんな好循環を完成・持続させたいと考えています。

さ

株式会社
アイエフエフ
社訓

誠感 勤感 顔笑



長崎の放送局で
自社テレビCM
絶賛放送中!



兜学風景





▲3列左6番目から白濱専務、下山会長、吉澤頭取、濱支店長(親和銀行)

社会貢献にも尽力されている
そうですね。将来像と併せてお
聞かせください。

社会貢献は、毎朝行う本社周
辺の清掃活動をはじめ、ペットボ
トルのキャップを集めて世界の子
どもたちにポリオワクチンを届け
る活動などに取り組んでいます。
これは、「お客様のお役に立ちた
い」という思いで、7年ほど前から
続けています。

また、長崎を元気にするための
地域イベントにも貢献したいと、
「ながさきみなとまつり」に、創業
3年目から打ち上げ花火のスポ
ンサーとして協賛し、イベントを
盛り上げています。

おかげさまで当社は今年10周年
を迎えます。今後も、お客様にご満
足いただける商品・サービスを提供
できるように一層努力し、時代の
ニーズに対応した商品ときめ細かい
アフターサービスで、国内CMS業
界No.1を目指してまいります。

◎インタビューを終えて



親和銀行
取締役頭取 吉澤 俊介

現代は、ホームページは「企業の顔」で、販促ツールとしてなくてはならない
ものです。「おりこうブログ」による実演を拝見し、こんなにも簡単にホーム
ページが作成・更新できるものかと、大変驚きました。

非常に利便性の高い「おりこうブログ」シリーズが、国内だけでなく世界中で
支持されることを期待しています。

トップに聞く

会社概要

ふくおかフィナンシャルグループでは、
ブランドスローガンである

「あなたのいちばんに。」

の実践に引き続き努めてまいります。



R・バジヨはアメリカW杯決勝で

PKを外しブラジルに敗れた後、

『PKを外すことが出来るのは、

PKを蹴る勇気を持った者だけだ』

という名言を残しました。

FFGの経営理念

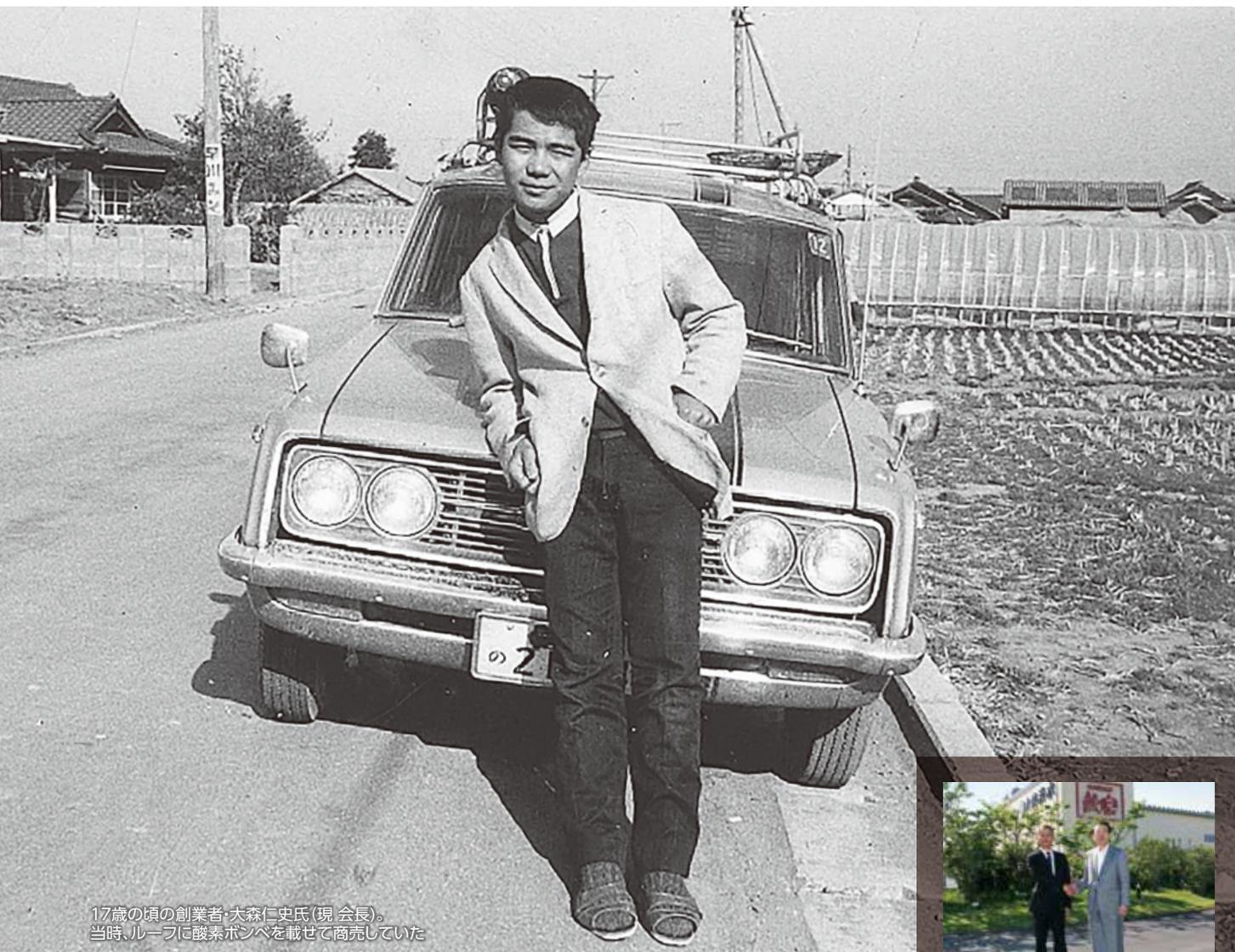
『失敗を恐れない行動力』を胸に、

我々もお客様のニーズにお応えするため、

何事にも積極果敢にチャレンジします！

福岡銀行サッカー部一同





17歳の頃の創業者・大森仁史氏(現会長)。
当時、ループに酸素ポンペを載せて商売していた

株式会社 大森淡水

鰻の「養殖」「流通」「加工」「うなぎ処 鰻楽」の4事業を展開し、それぞれに独自のこだわり・工夫があります。中でも、創業以来こだわっているのは「100%国産」鰻です。現在、養殖の技術革新と徹底した生産管理体制の構築を行い、鹿児島と宮崎の30を超える提携養殖場とともに、年間3,000～4,000トンもの鰻を養殖しています。

これからも、自社で生産・管理した安心・安全で美味しい鰻をお客様にお届けしてまいります。



安心・安全で美味しい
100%国産の鰻を
お召し上がり
ください!



▲自社のギフト商品



- 設立: 1973年
- 所在地: 宮崎市塩路
- 資本金: 1,000万円
- 従業員: 140名
- 事業内容:
鰻の養殖
活鰻流通
加工品製造・販売
レストラン事業
- 事業拠点: 宮崎市塩路

■取引店:  福岡銀行 
宮崎支店
0985-22-4101



竹下産業 株式会社

海苔の養殖が盛んな有明海に目を向け、1965年から乾海苔製造装置の製造を開始しました。1時間当たり1万枚を超える乾海苔を生産する「トライスター（全自動乾海苔製造機械）」は、今や我が社の主力製品となっています。

今後も「お客様満足度業界ナンバーワンを目指す」をモットーに海苔機械・農業機械に私たちの技術を結集させ、業界の発展向上に寄与し、地域社会の発展を支え続けます。



- 設 立：1965年
- 所 在 地：福岡県柳川市
- 資 本 金：8,000万円
- 従 業 員：60名
- 事業内容：
 - 全自動乾海苔製造装置の製造・販売
- 事業拠点：
 - (本社・工場)福岡県柳川市
 - (営 業 所)佐賀市川副町
 - 香川県高松市
 - 兵庫県明石市

- 取引店： 福岡銀行 
 - 柳川支店
 - 0944-73-1132



創業時の作業風景

オオクマ電子 株式会社

電子回路の設計や画像処理を得意とする電子機器メーカーで、今年創業40周年を迎えました。電子制御ユニットやコンピュータ制御ユニット等を製造し、主に装置メーカーに納入しています。

開発した主な製品は、スマートフォンの液晶ディスプレイがきちんと動作するかチェックする装置「OGI-007」や、手術で使った薬剤の種類や数を自動的に識別して記録する装置「SPASER」^{スパーサー}があります。今後も他社にはない新しいものづくりに挑戦し続けます。

▲自社製品
「SPASER」

- 設 立：1975年
- 所 在 地：熊本市東区
- 資 本 金：5,000万円
- 従 業 員：43名
- 事業内容：電子機器の製造・販売
- 事業拠点：
 - (本 社) 熊本市東区
(システムラボ)
熊本テクノリサーチパーク内
 - (東京営業所) 神奈川県川崎市
 - (関西営業所) 滋賀県大津市

- 取 引 店： 熊本銀行
託麻支店
096-382-4530



株式会社 ディーエスブランド

簡単にホームページを作成・運用・更新することができるソフト「おりこうブログシリーズ」を開発。まるでブログのような感覚でホームページが作成できると好評で、全国10,000社の多業種・多業態の企業様に選ばれています。

これからも、「すべてはお客様のために。」と「みんなが主役!」をスローガンに、企業様のホームページ開設・運用支援を中心とした製品・サービスを提供いたします。

- 設 立：2005年
- 所 在 地：長崎市旭町
- 資 本 金：1,000万円
- 従 業 員：159名
- 事業内容：
 - ホームページのコンテンツ管理システムの企画・開発・販売・サポート
- 事業拠点：
 - (本 社)長崎市旭町
 - (販売本部)東京都中央区

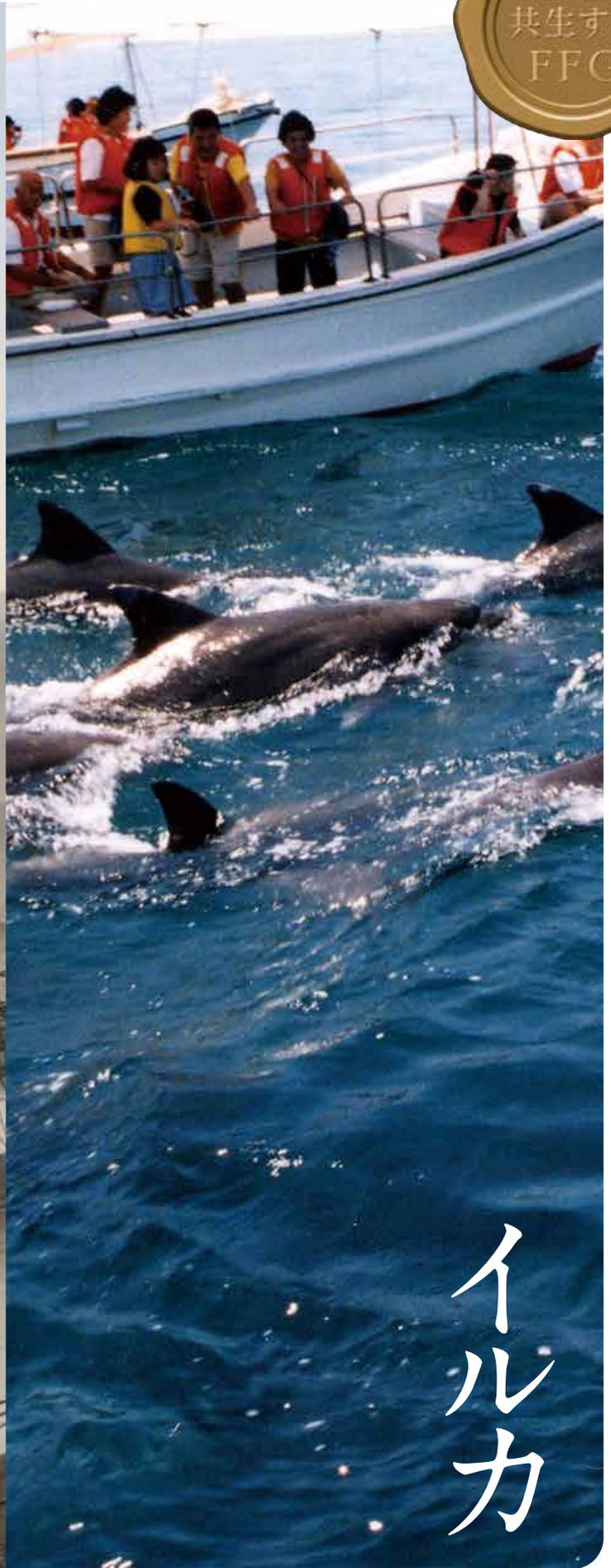


▲主力商品のHP作成ソフト「おりこうブログCS」

- 取引店：親和銀行 住吉支店
095-844-3164



教会



イルカ



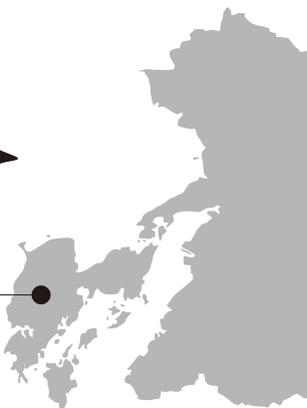
天草ジオパークも
あるよ!

地域と共生する FFG

天

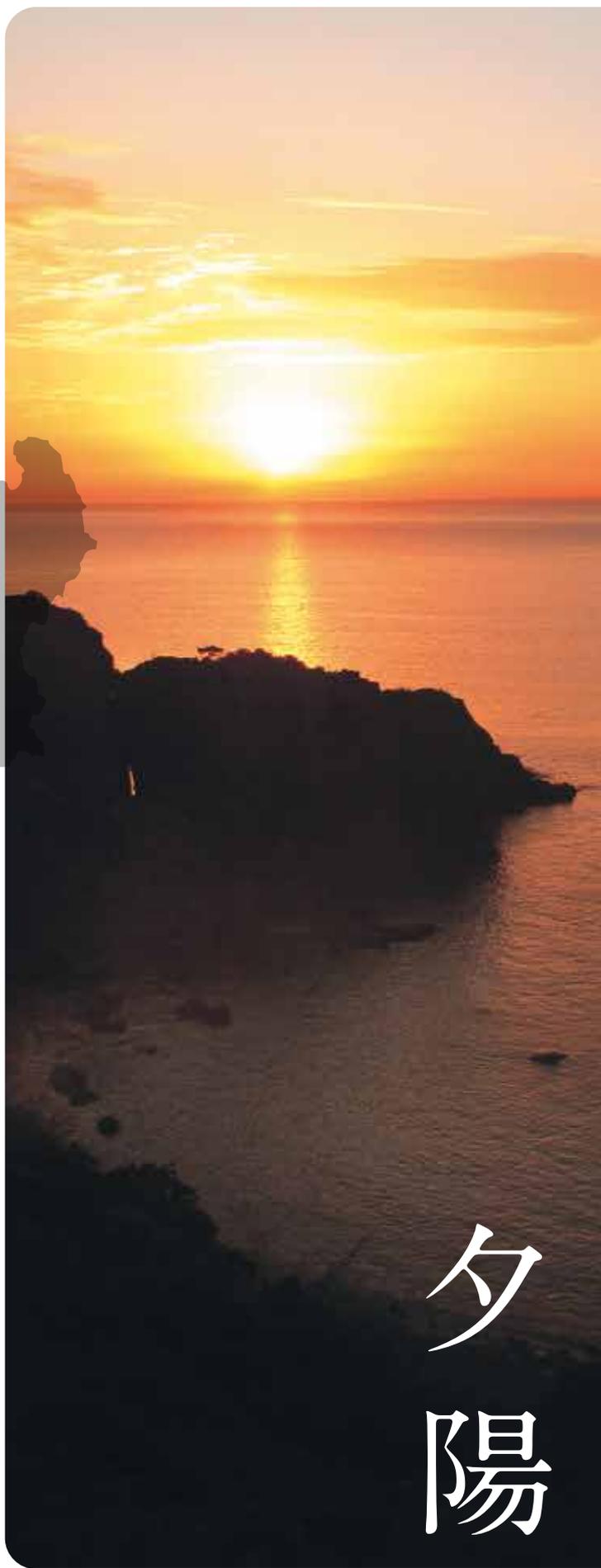
AMAKUSA

草



熊本県の南西部に位置し、周囲を東シナ海・有明海・八代海という3つの海に囲まれた天草。美しい青い海に浮かぶ大小さまざまな島々や緑深い山々が織り成す雄大な景観をはじめ、イルカウォッチング、キリシタンの歴史を伝える教会等、自然と文化に育まれた風土を紹介します。

寄稿：天草市観光振興課



夕陽

イルカ



愛嬌たっぷりのイルカに逢える



青
く美しい海が広がる天草市五和町の通詞島沖合には、約200頭の野生のミナミインドウイルカが暮らしています。

この一帯は、起伏に富んだ海底と潮流によって、イルカのエサとなる小魚などがたくさんいる豊かな海域であり、今でも網を使わない素潜り漁が行われていることから、野生のイルカが生息しています。また、群れを作って行動するイルカたちが側にいるとサメも寄って来ず、安心して素潜り漁ができるのです。

春先から夏にかけては、赤ちゃんイルカを見れるチャンスもあります。まさに天草は、人とイルカが共生している宝の島なのです。



イルカウォッチングのお申込み・お問い合わせ

●天草イルカインフォメーション

T E L / 0969-26-4500 (8:00~20:00)

料 金 / 大人・中学生以上 2,500円 小学生 1,500円

幼児(2歳以上) 500円

所要時間 / 約1時間



教会



日

本の西端に位置し、天然の良港に恵まれた天草には、古くから海を越え、様々な文化がもたらされました。中でもザビエルによって16世紀半ば日本へ伝えられたキリスト教は、天草を統治していた領主の招きにより来島したポルトガル人宣教師ルイス・デ・アルメイダによって天草に根を下ろします。

天正17年（1589年）、宣教師養成のために設立された大神学校「天草コレジヨ」では、宗教のほかヨーロッパの学問が説かれ、天正遺欧少年使節団が持ち帰った「グーテンベルク印刷機」による「天草本」が出版されるなど、南蛮文化が華開きました。

天草に伝来したキリスト教と南蛮文化

漁村に佇むゴシック様式の教会「崎津教会」。教会の周辺一帯は「日本の渚百選」「日本のかおり風景100選」「国の重要文化的景観」にも選ばれている

天草のキリスト教の
歴史を知る3施設



サンタマリア館



天草市立天草ロザリオ館



天草市立天草コレジオ館



夕陽

東シナ海に沈む美しい夕陽

天

草西海岸地域は、東シナ海に沈む美しい夕陽が見られることから、絶好の鑑賞スポットとして知られています。

天草市では、この夕陽鑑賞スポットの中から、特に優れた8箇所を「天草夕陽八景」として選定しました。

下田の夕陽(天草町下田北)

十三仏公園の夕陽(天草町高浜北)

大ヶ瀬の夕陽(天草町大江)

マリア像の夕陽(河浦町崎津)

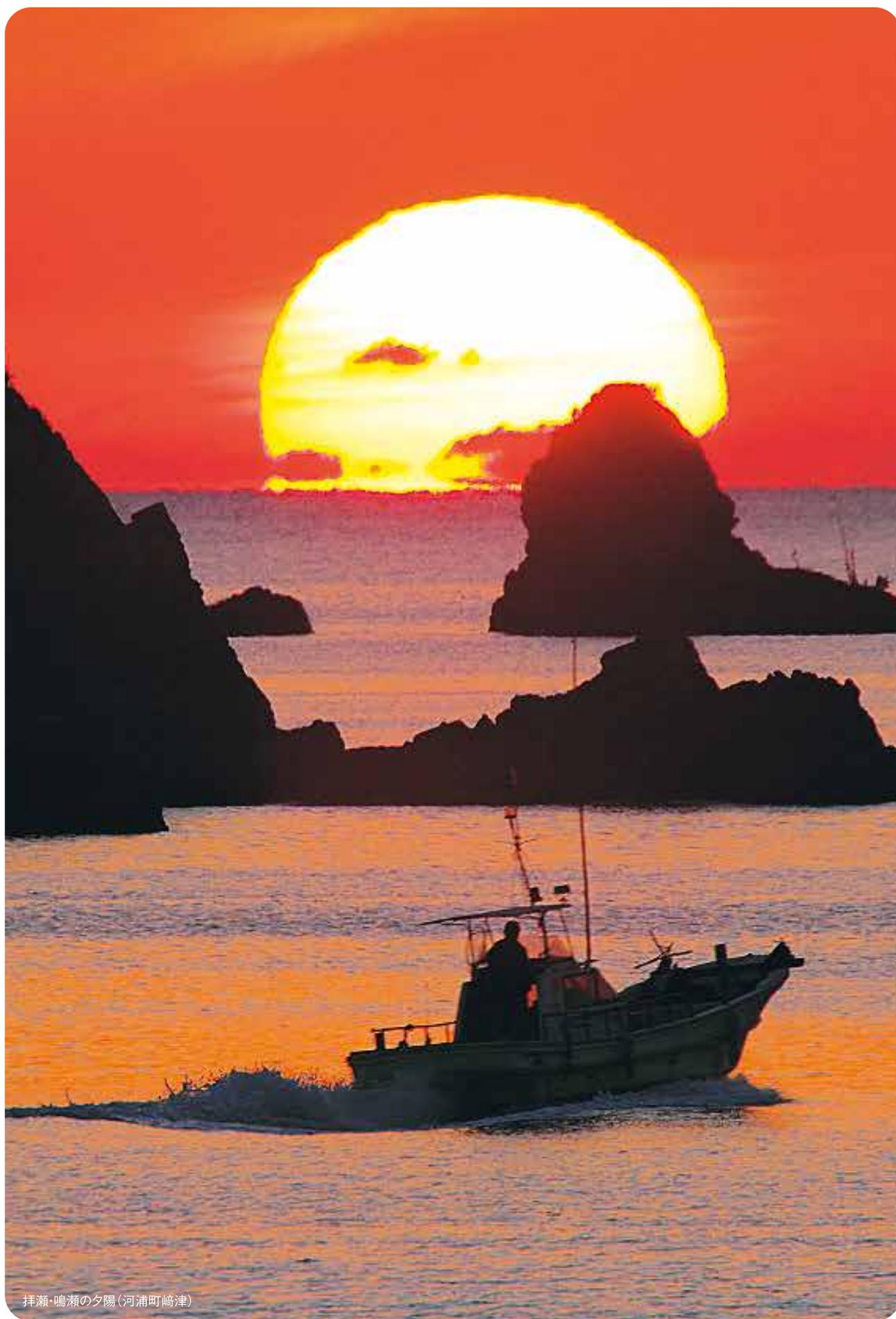
拝瀬・鳴瀬の夕陽(河浦町崎津)

魚貫・黒石の夕陽(魚貫町)

遠見山公園の夕陽(牛深町)

小森海岸の夕陽(牛深町)

マリア像の夕陽(河浦町崎津)



拝瀬・鳴瀬の夕陽(河浦町崎津)

ジオパーク



地球の生命を感じよう



1



2

クルージング(海上タクシー)

船を貸し切って、海上から恐竜の島見学! ガイドさんの案内付きで、運が良ければイノシシの遊泳も見られるかも!

【お申込み】

御所浦白亜紀資料館 0969-67-2325

御所浦アイランドツーリズム推進協議会 0969-67-1080



天

草地域は、風光明媚な多島海と、ケスタ地形に現れる特徴的な地質・地形をもっています。大地には一億年という時間の記録が刻まれ、生命の不思議を感じさせてくれる、まさに宝の島です。「天草ジオパーク」では、天草の地質・地形、化石、そして歴史、文化、産業、生態系など、大地に関わる多くの物語をより多くの人たちに知ってもらい、その保全と継承に力を入れていきます。

ジオパークとは?

ジオを学ぶ旅(ジオツーリズム)のなかで、山海・川をよく見て、その成り立ちとしくみに気付き、生態系や人間生活との関わりを考えることができる場所です。足元の岩石から宇宙まで、数十億年の過去から未来まで、つまりジオ(地球)を丸ごと考え、親しむことができます。



天草御所浦

一億年前にタイムスリップ!



3

天草御所浦ジオパーク



牧島

アンモナイト館

義経の舟隠し●

黒島海水浴場●

黒島

竹島



弁天島で発見された恐竜の足跡化石

京泊の恐竜化石発見地

肉食恐竜の歯!



中には…

アンモナイトの化石 /



4



5

1 ティラノサウルスのモニュメント

御所浦港(しおさい館横)にあるティラノサウルスのモニュメントは、記念撮影スポットとしても人気です。

2 鳥峠展望所

360度の眺望が楽しめます。

3 化石採集体験

白亜紀資料館近くの化石採集場で採集を体験できます。主に、二枚貝や巻き貝の化石が多く採れますが、運が良ければアンモナイトなど希少な化石も見つかります。

※貴重な化石が発見された場合は研究のため資料館へ寄贈していただきます。

4 アンモナイト館

建物の中には地層の表面に露出した状態のアンモナイト化石が保存されています。この化石は直径約60cmで九州最大級のもです。

5 御所浦白亜紀資料館

平成9年に御所浦島で恐竜の化石が発見されたことを機に設置された資料館。日本最大級の肉食恐竜の歯や植物食恐竜の骨、日本最古の大型は哺乳類の化石など、御所浦をはじめとする天草地域の約1,000点の標本が展示され、天草ジオパークの拠点施設となっています。



FILE No.19

九州の「地域ブランド」をご紹介します。

折尾名物 かしわめし



名物 し弁当



「おりお」駅を中心にした路線図の掛紙が印象的な「かしわめし」は、年齢を問わず人気の駅弁です。ふたを開けると鶏肉、錦糸卵、刻み海苔の3色コントラストが見事です。

大正時代から受け継がれてきた「かしわめし」は、鶏の出汁で炊き込んだ米飯の上に乗せられた甘辛い鶏肉が特徴です。九州駅弁グランプリで「昔ながらの駅弁部門賞」に輝きました。

鶏肉を中心に錦糸卵、刻み海苔をバランスよく端から食べていき、付け合せの奈良漬け、シヨウガ、佃煮、ウグイス豆を絶妙なタイミングで食べ終えるのが、このお弁当の醍醐味です。

地域と
共生する
FFG

昔ながらの駅弁部門賞受賞

北九州・折尾 かしわめ

FFG行員による自作自演ポスター No.3
傘を差しながらの自転車は罰せられます。



あなたのいちばんに。
FFG 福岡フィナンシャルグループ

平成27年6月1日より自転車の運転者が、交通の危険を生じさせる違反で3年以内に2回以上摘発を受けた場合「自転車運転者講習」受講が命じられます。受講命令に従わなかった場合は5万円以下の罰金となります。
危険を生じさせる危険行為とは、信号無視・ブレーキ不良自転車運転・遮断踏切立入り等の運転などがあります。

FFG 経営者クラブ 福岡地区交流会のご案内

参加料

無 料

FFG 経営者クラブ
会員様限定



世界のウイスキーを旅する

～ 知れば知るほど美味しくなる うんちく&飲み比べ ～

日時 / 2015年9月7日(月)
16:00～19:00(受付開始15:30)

会場 / ホテルオークラ福岡
平安の間(4F)

福岡市博多区下川端町3-2

定員 / 400名
※定員になり次第締め切らせていただきます。

主催 / FFG 経営者クラブ、福岡銀行、
熊本銀行、親和銀行、
ふくおかフィナンシャルグループ、
FFG ビジネスコンサルティング

協力 / サントリー酒類(株)

テイスティングがございます。お車でのご来場はお控えください。

お申込み
お問い合わせ先

株式会社FFGビジネスコンサルティング内
FFG 経営者クラブ事務局 〒810-0001 福岡市中央区天神2-13-1

TEL.092-723-2241 FAX.092-721-9258 (担当:田中・黒澤)



DATA in 九州

九州の身近なデータを
ワンポイント解説する
コーナーです。

今月の注目データ

今月は「すいかの年間購入数量」と「ふるさと納税寄附額」です。



すいかの年間購入数量

検索



ふるさと納税寄附額

検索





すいかの年間購入数量

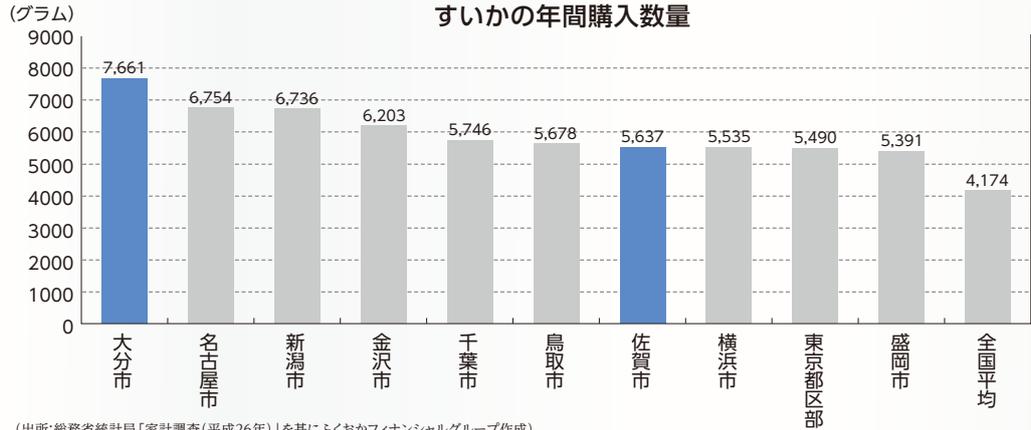
全国の都道府県庁所在地及び政令指定都市において、各家庭のすいかの年間購入数量を見ると大分市が1位で、全国平均を大きく上回っています。

夏の時季、大分市の多くの家庭ですいかを食べる食文化があることが要因と考えられます。

大分県日田市は豊富な地下水と昼夜の気温差が大きいため糖度の高いすいか作りに最適と言われており、生産された「日田西瓜」は主に大分市内の市場に出荷され、多くの大分市民が購入しています。

すいかに多く含まれるカリウムには疲労回復や利尿作用があるとされ、夏の暑さで衰えた身体に優しく、夏バテに効果があります。

7月27日は、「すいかの日」。すいかの縦縞模様を綱にたとえ、「な(7)つ(7)つ(2)な(7)」(夏の綱)と読む語呂合わせから、記念日に定められています。



ふるさと納税寄附額

2014年のふるさと納税額を全国的に見ると、長崎県平戸市が第1位になっています。(寄附額12億円)他、九州の4つの自治体が10位以内に入っており、九州勢だけで半数を占めています。

ふるさと納税の制度は、地方間格差や過疎などによる税収の減少に悩む自治体に対しての格差是正を推進するため2008年に創設されました。

平戸市の場合、寄附金額に応じてポイントが付与され、そのポイントに応じてカタログの中から好きな特産品等を選べることから人気を集めています。

また2015年より税制面での優遇措置が拡大するとともに、確定申告が不要となる「ふるさと納税ワンストップ特例制度」(*)も創設されました。

2014年ふるさと納税寄附額トップ10 (集計期間:2014年1月1日~12月31日)

順位	自治体名	寄附額
1	長崎県平戸市	12億7,884万円
2	佐賀県玄海町	9億3,206万円
3	北海道土幌町	9億1,098万円
4	宮崎県綾町	8億3,248万円
5	島根県浜田市	6億2,170万円
6	鳥取県米子市	4億9,511万円
7	山形県天童市	4億7,538万円
8	佐賀県小城市	4億2,822万円
9	宮崎県都城市	4億1,211万円
10	大阪府泉佐野市	3億8,977万円

(出所:ふるさと納税ポータルサイト「ふるさとチョイス」)

(*)ふるさと納税ワンストップ特例制度…確定申告の不要な給与所得者等がふるさと納税を行う場合に確定申告を行わなくてもふるさと納税の寄附金控除を受けられる仕組み

福岡県の最近の経済動向

福岡県の景気 | 持ち直しの動きが見られる

福岡県の景気は、持ち直しの動きが見られます。

個人消費は、主力の衣料品、飲食料品が前年を上回る等、持ち直しの動きが見られます。住宅投資は、2ヵ月ぶりに前年を下回っています。

生産は、持ち直しの動きが続いています。

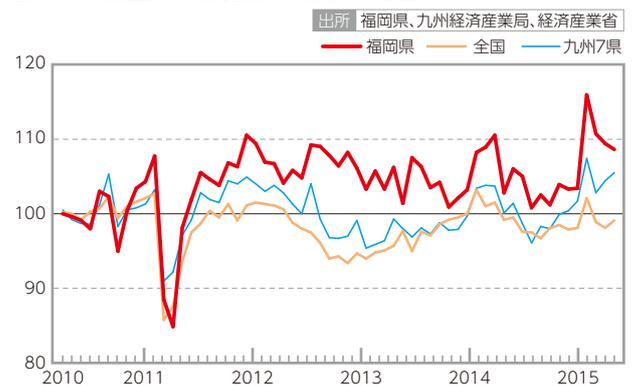
(松永 圭史)

1.生産活動 | 持ち直しの動きが続いている

4月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は108.6と前月比0.7%低下しました。

主要業種では、四輪自動車の生産が減少した輸送機械が低下したものの、トランジスタが増産となった電子部品・デバイスが上昇する等、生産は持ち直しの動きが続いています。

■福岡県の鉱工業生産指数の推移(季節調整済、2010年=100)

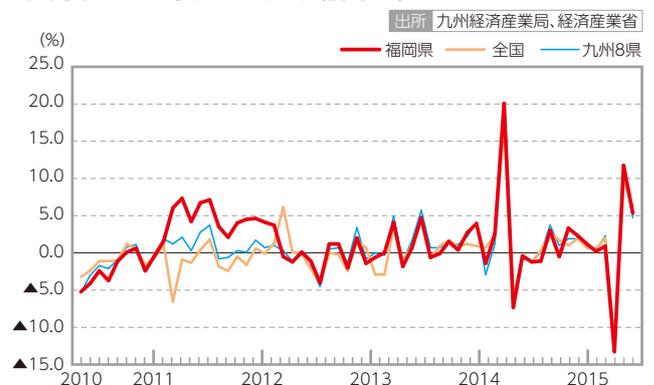


2.個人消費 | 持ち直しの動きが見られる

5月の大型小売店販売額は、前年同月比5.3%増の581億円となりました。

主力の衣料品、飲食料品ともに前年を上回る等、持ち直しの動きが見られます。

■福岡県の大型小売店販売額(前年比)





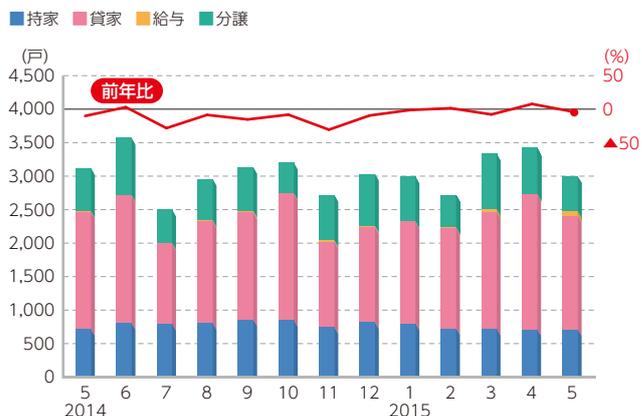
3.住宅建設 | 2カ月ぶりに前年を下回る

5月の新設住宅着工戸数は、3,016戸と前年同月比4.0%減少しました。

「分譲(戸建)」は前年を上回りましたが、「持家」「貸家」「分譲(マンション)」は前年を下回り、全体では2カ月ぶりに前年を下回りました。

福岡県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



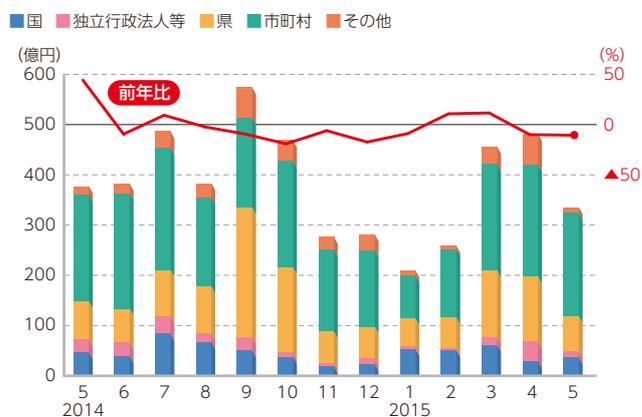
4.公共工事 | 2カ月連続で前年を下回る

5月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比23.0%減の406件、金額が同11.1%減の338億円となりました。

発注者別では、青果市場新築工事の大型案件があった「市町村」以外は大型案件に乏しく、全体では2カ月連続で前年を下回りました。

福岡県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 負債総額は前年を下回る

6月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比45.2%増の45件、負債総額は同43.7%減の約33億円となりました。

電子機器製造業で約7億円の倒産が発生しましたが、負債総額は前年を下回りました。

福岡県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



熊本県の最近の経済動向

熊本県の景気 | 持ち直しの動きが続いている

熊本県の景気は、持ち直しの動きが続いています。

個人消費は、主力の飲食料品が前年を上回る等、持ち直しの動きが見られます。住宅投資は、2ヵ月連続で前年を下回っています。

生産は、持ち直しの動きが続いています。

(松永 圭史)

1.生産活動 | 持ち直しの動きが続いている

4月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は121.3と前月比12.7%上昇しました。

主要業種では、集積回路の生産が増加した電子部品・デバイスや、産業用ロボットが増産となったはん用・生産用機械が上昇する等、生産は持ち直しの動きが続いています。

■熊本県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)

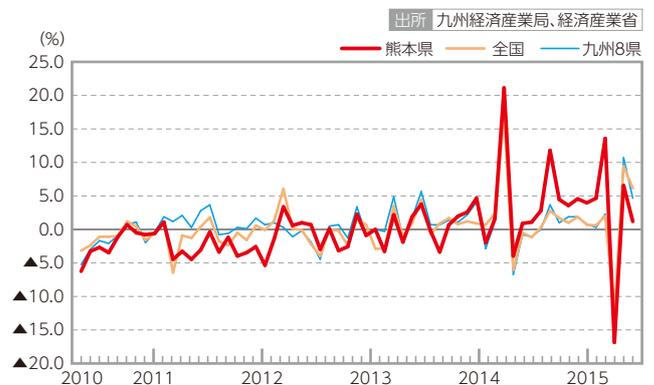


2.個人消費 | 持ち直しの動きが見られる

5月の大型小売店販売額は、前年同月比1.2%増の135億円となりました。

主力の飲食料品が前年を上回る等、持ち直しの動きが見られます。

■熊本県の大型小売店販売額(前年比)



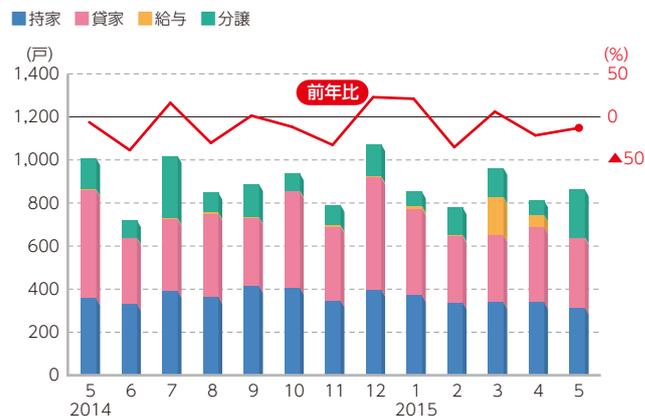
3.住宅建設 | 2カ月連続で前年を下回る

5月の新設住宅着工戸数は、870戸と前年同月比14.3%減少しました。

「分譲(マンション)」が前年を上回ったものの、「持家」「貸家」「分譲(戸建)」が前年を下回り、全体では2カ月連続で前年を下回りました。

■ 熊本県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



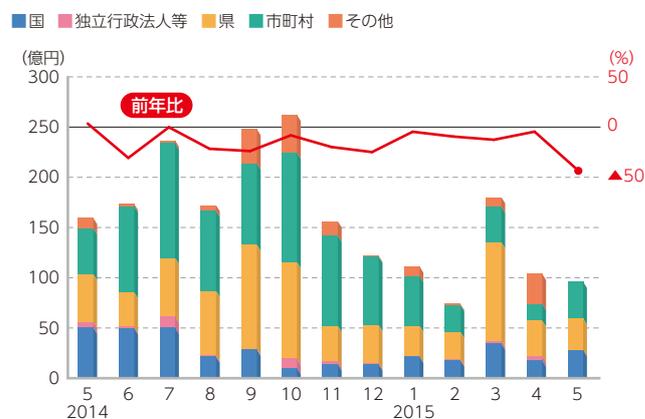
4.公共工事 | 12カ月連続で前年を下回る

5月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比26.6%減の213件、金額が同43.3%減の91億円となりました。

大型案件に乏しく、発注者別では全ての項目で前年を下回り、全体でも12カ月連続で前年を下回りました。

■ 熊本県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 負債総額は低水準に抑制

6月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比14.3%減の6件、負債総額が同43.6%減の約1億円となりました。

1億円以上の倒産の発生がなく、負債総額は低水準に抑制されています。

■ 熊本県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



長崎県の最近の経済動向

長崎県の景気 | 持ち直しの動きが見られる

長崎県の景気は、持ち直しの動きが見られます。

個人消費は、主力の飲食料品が好調に推移する等、持ち直しの動きが見られます。住宅投資は、2カ月連続で前年を下回っています。

生産は、持ち直しの動きが見られます。

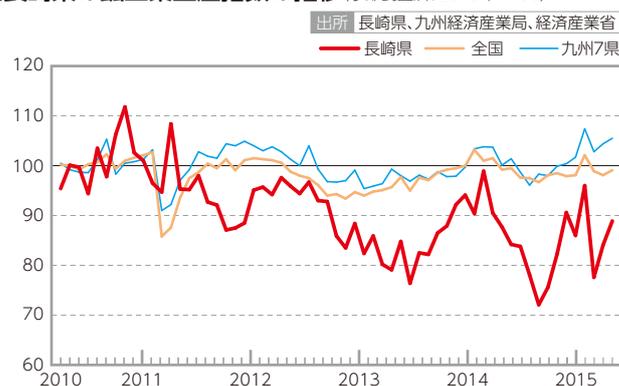
(松永 圭史)

1.生産活動 | 持ち直しの動きが見られる

4月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は88.9と前月比5.7%上昇しました。

主要業種では、ボイラーの生産が増加したはん用・生産用機械や、煮干が増産となった食料品が上昇する等、生産は持ち直しの動きが見られます。

■長崎県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)



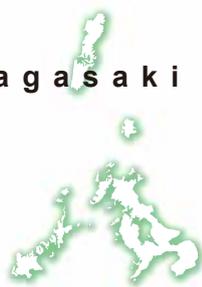
2.個人消費 | 持ち直しの動きが見られる

5月の大型小売店販売額は、前年同月比2.4%増の95億円となりました。

主力の飲食料品が好調だったほか、宝飾・貴金属等の動きが良く、個人消費は持ち直しの動きが見られます。

■長崎県の大型小売店販売額(前年比)





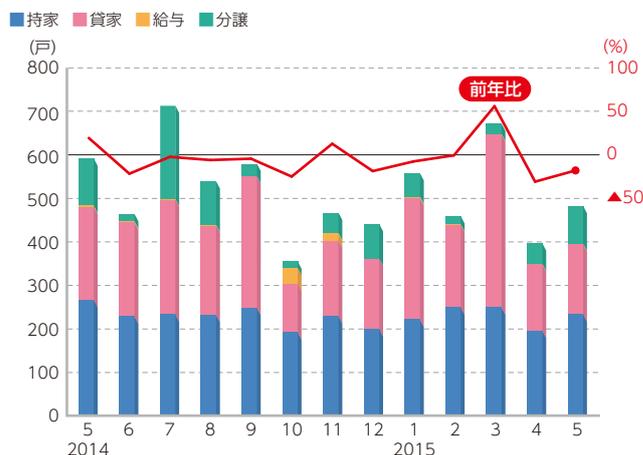
3.住宅建設 | 2カ月連続で前年を下回る

5月の新設住宅着工戸数は、487戸と前年同月比18.6%減少しました。

「分譲(戸建)」が前年を上回ったものの、「持家」「貸家」「分譲(マンション)」が前年を下回る等、全体では2カ月連続で前年を下回りました。

■長崎県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



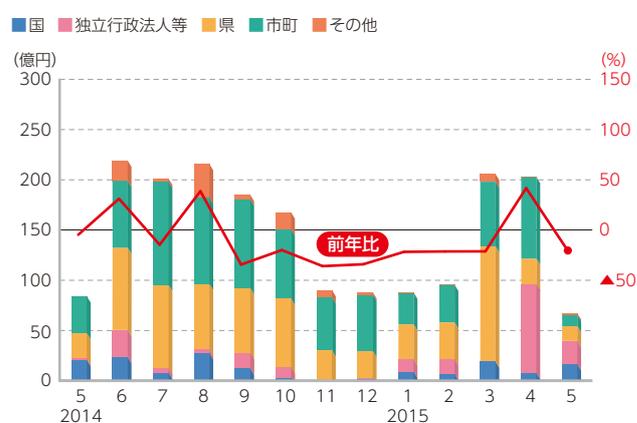
4.公共工事 | 2カ月ぶりに前年を下回る

5月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比37.2%減の135件、金額が同19.7%減の69億円となりました。

発注者別では、九州新幹線関連で大型案件があった「独立行政法人等」以外は大型案件に乏しく、全体では2カ月ぶりに前年を下回りました。

■長崎県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 負債総額は前年を上回る

6月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同数の5件、負債総額が同62.6%増の約22億円となりました。

建材卸売業で11億円の大型倒産が発生し、負債総額は前年を上回りました。

■長崎県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



佐賀県の最近の経済動向

佐賀県の景気 | 持ち直しの動きが見られる

佐賀県の景気は、持ち直しの動きが見られます。

個人消費は、主力の飲食料品が前年を上回る等、持ち直しの動きが見られます。住宅投資は、4ヵ月ぶりに前年を上回っています。

生産は、弱含んでいます。

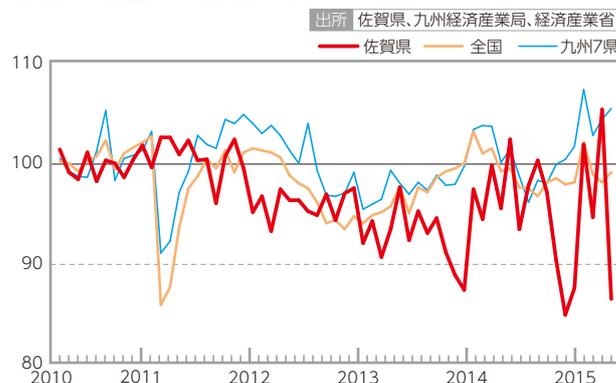
(松永 圭史)

1.生産活動 | 弱含んでいる

4月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は86.4と前月比18.0%低下しました。

主要業種では、農薬の生産が減少した化学や、自動車シートが減産となった輸送機械が低下する等、生産は弱含んでいます。

■佐賀県の鉱工業生産指数の推移(季節調整済、2010年=100)

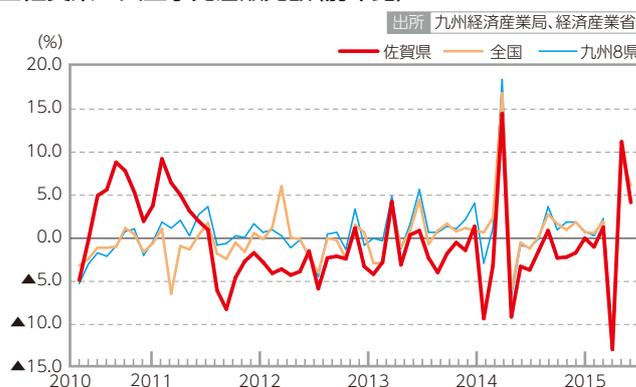


2.個人消費 | 持ち直しの動きが見られる

5月の大型小売店販売額は、前年同月比4.2%増の54億円となりました。

主力の飲食料品が前年を上回る等、持ち直しの動きが見られます。

■佐賀県の大型小売店販売額(前年比)

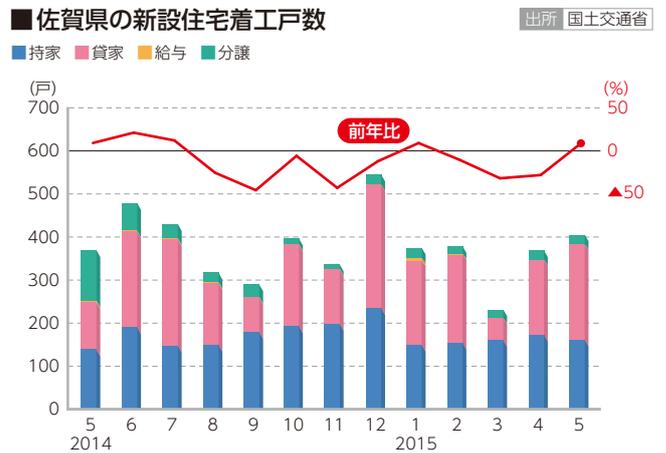




3.住宅建設 | 4カ月ぶりに前年を上回る

5月の新設住宅着工戸数は、408戸と前年同月比9.7%増加しました。

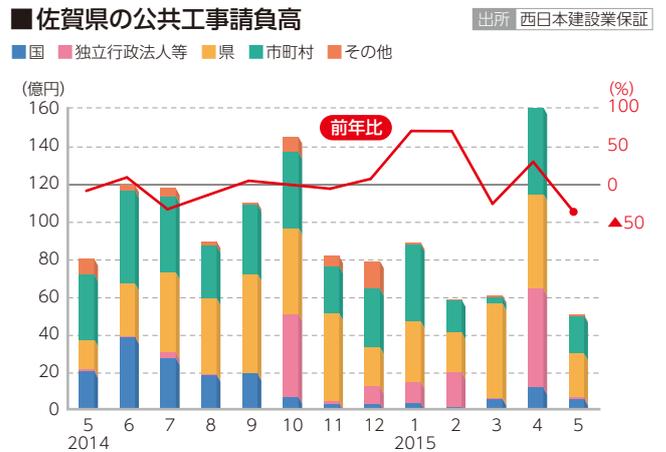
「分譲」が前年を下回ったものの、「持家」「貸家」が前年を上回り、全体では4カ月ぶりに前年を上回りました。



4.公共工事 | 2カ月ぶりに前年を下回る

5月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比36.3%減の107件、金額が同37.2%減の50億円となりました。

大型案件に乏しく「県」を除く全ての項目で前年を下回りました。



5.企業倒産 | 負債総額、倒産件数ともに低水準に抑制

6月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比50%減の2件、負債総額が前年同月比99.1%減の40百万円となりました。

負債総額、倒産件数ともに低水準に抑制されています。



大分県の最近の経済動向

大分県の景気 | 持ち直しの動きが見られる

大分県の景気は、持ち直しの動きが見られます。

個人消費は、主力の飲食料品が前年並み水準を維持する等、持ち直しの動きが見られます。住宅投資は、2カ月ぶりに前年を上回っています。

生産は、持ち直しの動きが続いています。

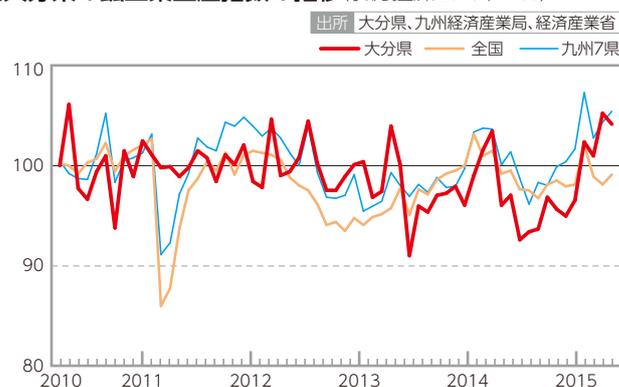
(松永 圭史)

1.生産活動 | 持ち直しの動きが続いている

4月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は104.2と前月比1.0%低下しました。

主要業種では、軽小型乗用車の生産が減少した輸送機械が低下したものの、セメントが増産となった窯業・土石製品が上昇する等、生産は持ち直しの動きが続いています。

■大分県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)

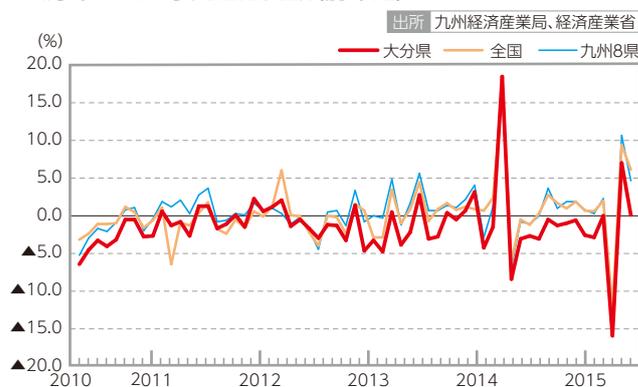


2.個人消費 | 持ち直しの動きが見られる

5月の大型小売店販売額は、前年同月比0.1%増の92億円となりました。

衣料品は前年を下回ったものの、主力の飲食料品が前年並みを維持する等、個人消費は持ち直しの動きが見られます。

■大分県の大型小売店販売額(前年比)

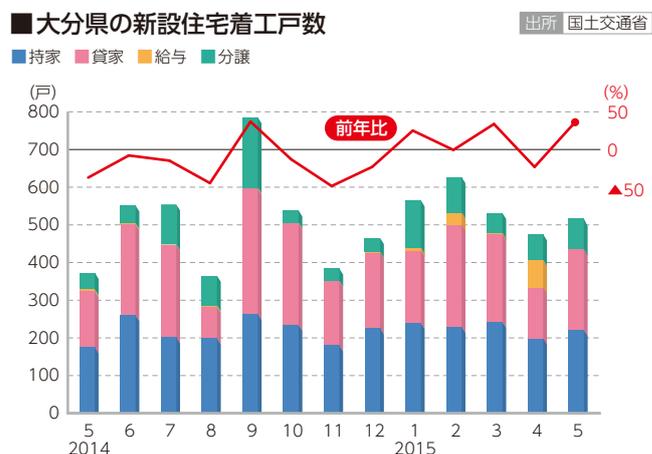




3.住宅建設 | 2ヵ月ぶりに前年を上回る

5月の新設住宅着工戸数は、前年同月比38.6%増の521戸となりました。

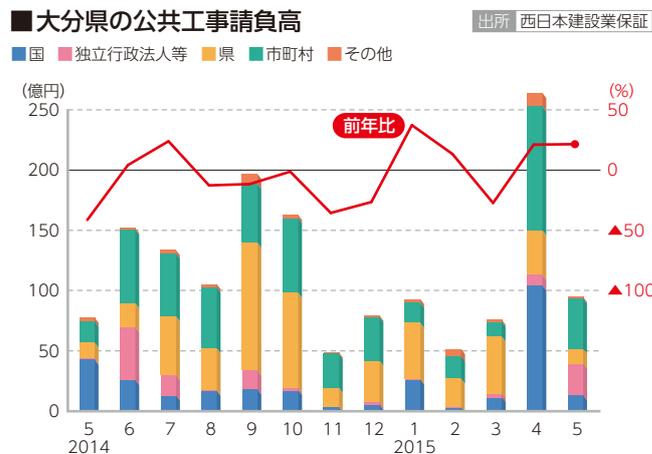
「分譲(戸建)」が前年を下回ったものの、「持家」「貸家」「分譲(マンション)」が前年を上回り、全体では2ヵ月ぶりに前年を上回りました。



4.公共工事 | 2ヵ月連続で前年を上回る

5月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比32.8%減の119件、金額が同22.2%増の96億円となりました。

発注者別では、大学病院関連工事の大型案件があった「独立行政法人等」や、庁舎建設工事の発注があった「市町村」が前年を上回り、全体でも2ヵ月連続で前年を上回りました。



5.企業倒産 | 負債総額は低水準に抑制

6月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比50%減の3件、負債総額が同80.7%減の約1億円となりました。

1億円以上の倒産の発生がなく、負債総額は低水準に抑制されています。



宮崎県の最近の経済動向

宮崎県の景気 | 持ち直しの動きが見られる

宮崎県の景気は、持ち直しの動きが見られます。

個人消費は、主力の衣料品、飲食料品が前年を上回る等、持ち直しの動きが見られます。住宅投資は、2カ月ぶりに前年を下回っています。

生産は、持ち直しの動きに弱さが見られます。

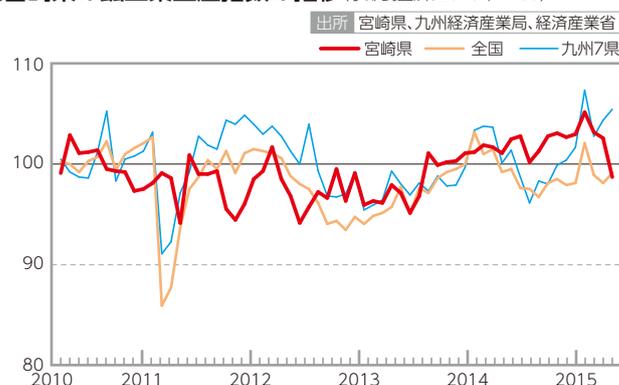
(松永 圭史)

1.生産活動 | 持ち直しの動きに弱さが見られる

4月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は98.7と前月比3.8%低下しました。

主要業種では、集積回路(ロジック)の生産が増加した電子部品・デバイスが上昇したものの、建設向け鉄骨が増産となった鉄鋼・金属製品が低下する等、持ち直しの動きに弱さが見られます。

■宮崎県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)

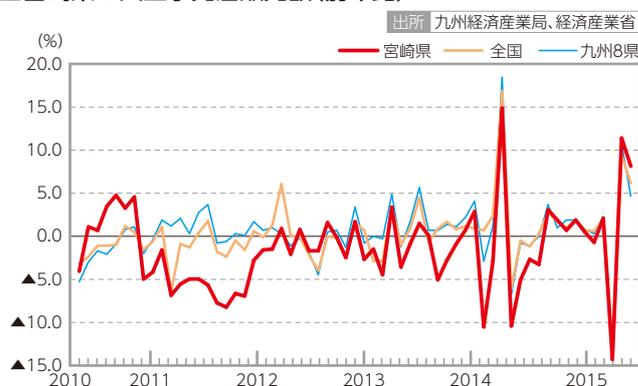


2.個人消費 | 持ち直しの動きが見られる

5月の大型小売店販売額は、前年同月比8.2%増の73億円となりました。

主力の衣料品、飲食料品ともに前年を上回る等、持ち直しの動きが見られます。

■宮崎県の大型小売店販売額(前年比)





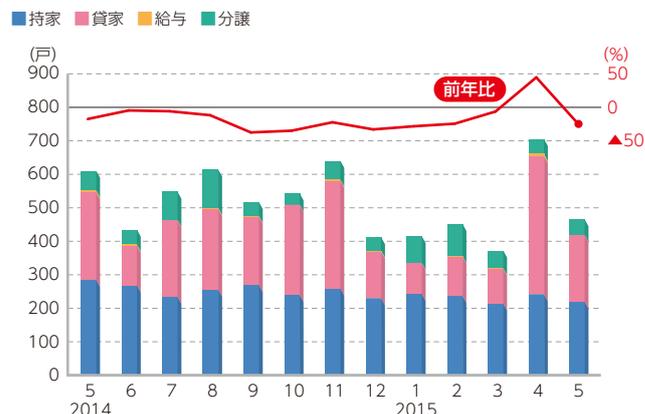
3.住宅建設 | 2カ月ぶりに前年を下回る

5月の新設住宅着工戸数は、前年同月比23.7%減の469戸となりました。

全ての項目で前年を下回り、全体では2カ月ぶりに前年を下回りました。

■宮崎県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



4.公共工事 | 4カ月連続で前年を下回る

5月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比38.0%減の160件、金額が同34.6%減の62億円となりました。

全体的に大型案件に乏しく、4カ月連続で前年を下回りました。

■宮崎県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 負債総額は低水準に抑制

6月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比50%減の3件、負債総額が約2億円となりました。

1億円以上の倒産の発生がなく、負債総額は低水準に抑制されています。

■宮崎県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



鹿児島県の最近の経済動向

鹿児島県の景気 | 持ち直しの動きが見られる

鹿児島県の景気は、持ち直しの動きが見られます。

個人消費は、主力の飲食料品が前年を上回る等、持ち直しの動きが見られます。住宅投資は、2ヵ月連続で前年を上回っています。

生産は、底堅く推移しています。

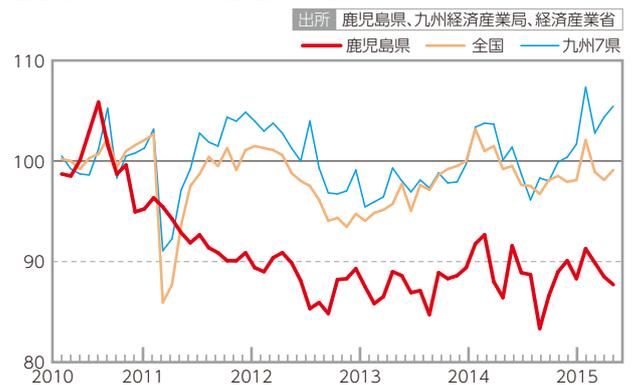
(松永 圭史)

1.生産活動 | 底堅く推移している

4月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は87.6と前月比0.9%低下しました。

主要業種では、食料品が低下したものの、電子部品・デバイスや窯業・土石製品が上昇する等、生産は底堅く推移しています。

■鹿児島県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)

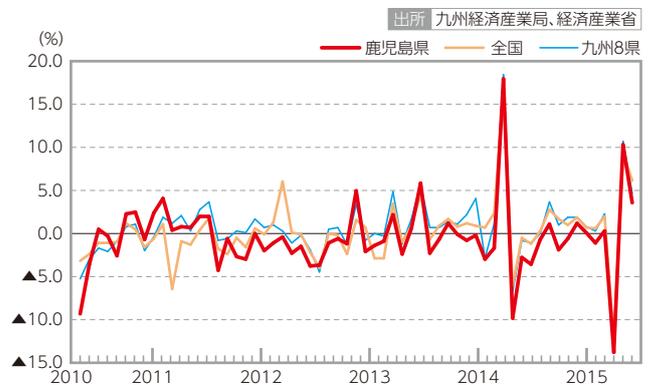


2.個人消費 | 持ち直しの動きが見られる

5月の大型小売店販売額は、前年同月比3.5%増の133億円となりました。

主力の飲食料品が前年を上回る等、個人消費は持ち直しの動きが見られます。

■鹿児島県の大型小売店販売額(前年比)





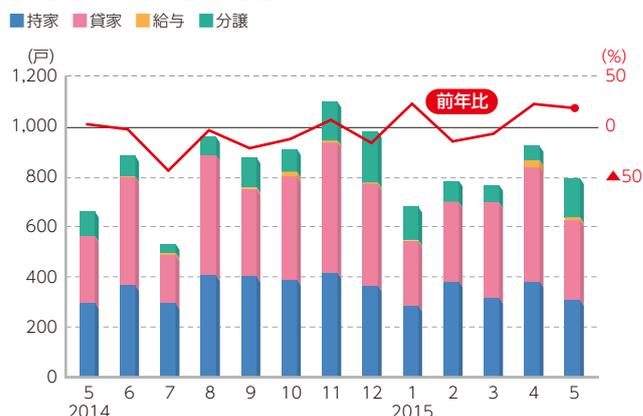
3.住宅建設 | 2カ月連続で前年を上回る

5月の新設住宅着工戸数は、799戸と前年同月比20.0%増加しました。

全ての項目で前年を上回り、全体でも2カ月連続で前年を上回りました。

鹿児島県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



4.公共工事 | 3カ月連続で前年を下回る

5月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比30.4%減の224件、金額が同36.9%減の121億円となりました。

発注者別では、大学関連工事の発注があった「独立行政法人等」や、港湾施設関連工事の発注があった「市町村」で前年を上回ったものの、全体的に大型案件に乏しく、3カ月連続で前年を下回りました。

鹿児島県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 負債総額は前年を下回る

6月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比28.6%減の5件、負債総額が同75.6%減の約4億円となりました。

広告代理業で約2億円の倒産が発生しましたが、負債総額は前年を下回りました。

鹿児島県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



全国 経済指標

項目 年月	鉱工業指数(2010年=100)						機械受注金額 (船舶・電力を 除く民需)	貿易		公共工事 保証請負金額		建築着工統計 工事費予定額 (非居住用)	
	生産指数		出荷指数		在庫指数			輸出金額	輸入金額	億円	前年比(%)	億円	前年比(%)
	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)							
2011年	97.2	▲2.8	96.3	▲3.7	104.3	4.3	7.8	▲2.7	12.1	109,755	▲3.4	78,693	3.5
2012年	97.8	0.6	97.5	1.2	110.4	5.8	▲0.9	▲2.7	3.8	125,423	14.3	79,685	1.3
2013年	97.0	▲0.8	96.9	▲0.6	107.4	▲2.7	5.2	9.5	14.9	141,492	12.8	95,027	19.3
2014.4	99.2	3.7	97.7	1.9	106.7	▲1.5	▲3.1	5.1	3.4	17,583	10.0	9,353	17.1
5	99.5	1.0	97.3	▲1.1	108.7	1.1	▲16.4	▲2.7	▲3.5	13,126	21.1	8,020	5.1
6	97.6	3.2	96.4	1.9	110.1	3.1	0.8	▲1.9	8.5	15,855	14.3	9,723	19.5
7	97.5	▲0.5	96.9	▲0.5	110.7	3.1	7.4	3.9	2.4	16,273	3.5	8,355	4.3
8	96.7	▲3.0	94.9	▲4.1	111.7	4.7	2.3	▲1.3	▲1.4	11,276	▲8.1	7,837	▲0.3
9	98.1	1.0	97.9	1.7	111.3	4.1	2.4	6.9	6.3	13,984	▲8.2	8,194	▲5.8
10	98.5	▲0.5	98.0	▲0.6	111.2	3.9	▲3.5	9.6	3.1	13,161	▲7.4	10,572	22.2
11	97.9	▲3.7	97.3	▲4.8	112.4	6.6	0.1	4.9	▲1.6	8,437	▲10.4	7,144	▲10.6
12	98.1	▲0.1	97.1	▲0.1	112.3	6.2	5.6	12.8	1.9	8,944	1.0	6,763	▲17.0
2015.1	102.1	▲2.6	102.4	▲2.1	111.8	5.6	2.5	17.0	▲9.0	6,708	▲13.7	7,458	▲6.2
2	98.9	▲2.0	97.9	▲2.9	113.0	7.0	▲1.4	2.5	▲3.6	7,122	2.3	8,646	10.8
3	98.1	▲1.7	97.3	▲2.3	113.4	6.2	2.9	8.5	▲14.5	12,755	▲12.4	6,608	▲22.1
4	99.3	0.1	97.9	0.2	113.8	6.6	3.8	8.0	▲4.0	18,361	4.4	12,801	36.9
5	97.1	▲4.0	96.0	▲3.2	112.9	3.9	0.6	2.4	▲8.6	11,294	▲14.0	8,852	10.4
出所	経済産業省						内閣府	財務省	西日本建設業保証		国土交通省		

項目 年月	新設住宅着工戸数					企業物価指数 (2010年=100)		消費者物価指数 (2010年=100)		大型小売店 販売額		乗用車 乗用車新規登録台数	
	合計		持家	貸家	分譲	指数	前年比(%)	指数	前年比(%)	億円	前年比(%)	台	前年比(%)
	戸	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)								
2011年	834,215	2.6	0.1	▲4.1	16.2	101.5	1.5	99.7	▲0.3	195,933	▲0.9	2,381,121	▲18.5
2012年	882,797	5.8	2.0	11.4	5.2	100.6	▲0.9	99.7	▲0.0	195,916	▲0.0	3,008,634	26.4
2013年	980,025	11.0	13.9	11.8	6.9	101.9	1.3	100.0	0.4	197,773	0.9	2,865,354	▲4.8
2014.4	75,286	▲3.3	▲16.1	12.0	▲7.8	105.8	4.2	103.1	3.4	14,677	▲6.1	165,377	▲11.8
5	67,791	▲15.0	▲22.9	3.1	▲27.1	106.1	4.4	103.5	3.7	15,924	▲0.5	178,275	▲6.9
6	75,757	▲9.5	▲19.0	1.8	▲11.9	106.2	4.5	103.4	3.6	16,317	▲1.2	228,550	▲1.8
7	72,880	▲14.1	▲25.3	▲7.7	▲7.7	106.6	4.4	103.4	3.4	17,174	0.3	250,076	0.3
8	73,771	▲12.5	▲22.7	▲3.8	▲10.3	106.5	4.0	103.6	3.3	16,263	2.8	177,390	▲5.9
9	75,882	▲14.3	▲23.4	▲5.7	▲15.3	106.4	3.6	103.9	3.2	15,313	1.7	267,804	▲5.6
10	79,171	▲12.3	▲28.6	▲4.1	1.6	105.5	2.9	103.6	2.9	16,065	1.0	206,084	▲11.2
11	78,364	▲14.3	▲29.3	▲7.4	▲6.0	105.2	2.6	103.2	2.4	17,286	1.9	203,219	▲16.0
12	76,416	▲14.7	▲25.5	▲8.9	▲10.5	104.7	1.8	103.3	2.4	21,558	0.7	197,671	▲11.1
2015.1	67,713	▲13.0	▲18.7	▲10.3	▲11.2	103.3	0.3	103.1	2.4	17,215	0.6	207,210	▲21.5
2	67,552	▲3.1	▲9.1	▲7.5	11.2	103.2	0.4	102.9	2.2	14,986	2.0	249,115	▲16.8
3	69,887	0.7	▲1.4	4.6	▲4.9	103.5	0.7	103.3	2.3	17,150	▲12.3	355,676	▲14.6
4	75,617	0.4	▲2.1	▲1.8	7.2	103.6	▲2.1	103.7	0.6	16,080	9.6	170,098	2.9
5	71,720	5.8	1.1	2.8	18.1	103.9	▲2.1	104.0	0.5	16,922	6.3	180,369	1.2
出所	国土交通省					日本銀行	総務省	経済産業省		日本自動車販売協会連合会			

項目 年月	乗用車		家計消費支出(勤労者世帯)				有効求人 倍率	完全 失業率	倒産件数		預金残高		貸金残高	
	軽乗用車販売台数		可処分所得		消費支出				件	前年比(%)	百億円	前年比(%)	百億円	前年比(%)
	台	前年比(%)	円	前年比(%)	円	前年比(%)								
2011年	1,138,752	▲11.4	420,538	▲2.2	308,838	▲3.0	0.65	4.5	12,734	▲4.4	59,694	3.5	41,350	1.0
2012年	1,557,681	36.8	425,005	1.1	313,874	1.6	0.80	4.4	12,124	▲4.8	61,144	2.4	42,126	1.9
2013年	1,690,171	8.5	426,132	0.3	319,170	1.7	0.93	4.0	10,855	▲10.5	63,879	4.5	43,320	2.8
2014.4	127,339	5.3	373,090	▲3.2	329,976	▲3.1	1.08	3.6	914	1.7	64,878	3.1	43,304	2.6
5	125,717	7.9	320,940	0.8	293,050	▲4.8	1.09	3.5	834	▲20.2	64,753	2.5	43,343	2.6
6	150,205	3.2	568,874	▲3.9	295,738	▲0.3	1.10	3.7	865	▲3.6	65,086	2.7	43,555	2.7
7	140,687	▲7.5	448,429	▲1.3	311,693	0.4	1.10	3.8	882	▲14.0	64,243	2.3	43,445	2.5
8	103,576	▲15.0	383,294	▲1.4	305,836	▲2.2	1.10	3.5	727	▲11.2	64,407	2.6	43,538	2.6
9	163,388	0.9	341,855	▲2.2	303,614	▲3.7	1.10	3.6	827	0.9	65,100	2.6	44,076	2.7
10	121,646	0.1	404,682	0.9	316,154	▲0.1	1.10	3.5	800	▲16.6	64,460	2.6	43,790	2.9
11	135,933	▲0.1	352,340	▲1.1	306,230	1.7	1.12	3.5	736	▲14.6	65,443	3.5	44,159	3.1
12	161,939	19.0	773,622	2.6	357,772	▲0.2	1.14	3.4	686	▲8.5	65,833	3.1	44,704	3.2
2015.1	136,405	▲19.4	359,029	0.2	320,674	▲1.6	1.14	3.6	721	▲16.6	65,538	3.1	44,450	3.1
2	163,627	▲14.1	406,800	2.1	291,387	▲1.1	1.15	3.5	692	▲11.5	65,899	3.6	44,603	3.4
3	230,385	▲7.4	364,614	1.7	351,974	▲8.5	1.15	3.4	859	5.5	67,375	3.5	45,195	3.3
4	93,134	▲26.9	384,710	3.1	334,301	1.3	1.17	3.3	748	▲18.2	67,162	3.5	44,721	3.3
5	98,660	▲21.5	327,875	2.2	317,317	8.3	1.19	3.3	834	0.0	67,594	4.4	44,821	3.4
出所	全国軽自動車協会連合会		総務省				厚生労働省	総務省	東京商工リサーチ		日本銀行			

(注) 鉱工業指数は、前年同期比の値と年間の指数は原数値、月間の指数は季節調整値。機械受注金額は、年間は前年比、月間は前月比。大型小売店販売額は、店舗調整前の値。なお、前年比増減率は、調査対象事業所見直し(2010年7月)に伴うギャップを調整するリンク係数で処理してあるため、実数と乖離する。家計消費支出の前年比は、名目値の前年比。可処分所得・消費支出は、2人以上の世帯のうち勤労者世帯(農林漁家世帯を含む)。有効求人倍率は、年間は実数値、月間は季節調整値。新規学卒を除きパートタイムを含む。完全失業率は季節調整値。預金残高は年末、月末残高。都市銀行、地方銀行、第二地方銀行、信託銀行の合計、ただし、特別国際金融取引勘定を含まない。

項目 年月	鉱工業生産指数(2010年=100)										鉱工業出荷指数 (2010年=100)		鉱工業在庫指数 (2010年=100)	
	総合		鉄鋼		食料品・たばこ		はん用・生産用機械		輸送機械		季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)
	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)				
2011年	101.7	1.7	96.8	▲3.2	98.3	▲1.7	106.1	6.1	109.7	9.7	102.8	2.8	118.0	18.0
2012年	107.2	5.4	91.0	▲6.1	101.2	3.0	100.7	▲5.0	126.7	15.5	108.6	5.6	131.3	11.3
2013年	103.9	▲3.1	89.1	▲2.0	96.5	▲4.6	100.9	0.2	119.6	▲5.6	105.1	▲3.2	141.4	7.7
2014.4	102.8	▲3.4	88.5	0.6	81.4	▲17.2	123.7	42.4	111.3	▲13.3	101.6	▲5.2	135.8	1.0
5	106.0	4.3	94.4	6.9	90.8	▲8.8	117.0	4.7	119.5	13.6	108.1	2.7	139.4	6.2
6	105.0	0.2	94.1	6.9	91.6	▲4.3	125.7	32.3	112.7	▲6.7	105.7	▲0.1	145.1	10.4
7	100.8	▲6.4	92.8	8.8	88.5	▲11.5	111.1	7.6	107.9	▲14.2	101.7	▲7.3	141.5	2.9
8	102.5	▲2.9	90.4	2.1	88.9	▲9.5	120.1	15.3	105.9	▲15.6	104.6	▲2.1	140.8	0.6
9	101.2	▲2.9	93.9	6.9	89.3	▲3.8	97.0	▲7.1	105.3	▲14.0	103.2	▲2.2	140.7	▲2.6
10	103.9	2.3	91.9	3.5	89.8	▲8.9	118.7	24.1	111.2	▲2.3	105.0	3.7	136.6	▲7.1
11	103.3	0.3	95.5	5.6	91.4	0.3	115.4	9.9	107.3	▲7.3	105.3	0.8	134.4	▲10.0
12	103.4	0.2	94.8	0.2	89.6	1.2	109.4	▲7.4	114.1	▲1.4	104.4	▲0.3	133.3	▲14.1
2015.1	115.9	5.8	97.0	8.5	94.3	2.5	112.7	▲0.9	144.7	5.5	115.8	3.9	137.4	▲2.8
2	110.7	1.6	95.7	18.5	91.1	▲0.6	109.9	8.9	130.0	▲0.2	112.5	1.5	136.2	▲1.8
3	109.4	▲1.0	93.4	10.8	88.0	▲4.1	111.9	3.0	131.6	▲4.9	109.3	▲0.8	141.4	10.1
4	108.6	5.7	91.3	3.2	90.2	10.9	128.4	3.8	122.5	10.1	108.1	6.4	149.3	10.0
5														
出所	福岡県調査統計課													

項目 年月	貿易		公共工事 保証請負金額		建築着工統計 工事費予定額 (非居住用)		新設住宅着工戸数				消費者物価指数 (2010年=100) 福岡市		大型小売店 販売額		
	輸出金額	輸入金額	億円	前年比(%)	億円	前年比(%)	合計		持家	貸家	分譲	指数	前年比(%)	百万円	前年比(%)
	前年比(%)	前年比(%)					戸	前年比(%)							
2011年	0.2	13.9	3,321	▲15.7	2,560	▲0.5	34,945	12.2	▲0.7	8.6	46.1	99.8	▲0.2	689,334	4.3
2012年	2.0	6.9	3,691	11.1	2,825	10.4	36,111	3.3	▲0.3	11.4	▲5.8	99.6	▲0.1	689,812	0.1
2013年	6.6	13.6	4,742	28.5	3,855	36.4	41,335	14.5	12.9	8.5	27.6	99.6	▲0.0	698,746	1.3
2014.4	▲1.3	8.5	542	13.0	545	126.3	3,181	▲10.4	▲17.0	▲9.2	▲1.3	101.8	2.6	49,589	▲7.3
5	10.2	4.5	380	46.3	126	▲56.6	3,143	▲10.9	▲26.0	26.1	▲40.6	102.2	2.9	55,183	▲0.4
6	▲4.0	4.2	385	▲10.0	320	58.3	3,598	3.2	▲11.0	28.7	▲19.9	102.3	3.1	55,437	▲1.2
7	▲2.9	1.0	490	9.7	249	▲28.8	2,520	▲30.4	▲15.8	▲22.6	▲54.1	102.6	3.1	61,984	▲1.1
8	2.9	1.7	386	▲2.4	340	9.0	2,981	▲9.2	▲14.9	15.6	▲32.7	102.9	3.2	57,250	3.0
9	2.1	6.9	579	▲9.9	288	▲44.1	3,160	▲16.5	▲19.2	3.3	▲41.9	103.3	2.8	52,202	▲0.5
10	5.2	7.0	472	▲20.1	296	▲5.5	3,225	▲8.8	▲18.1	15.5	▲43.6	102.7	2.5	57,150	3.3
11	12.2	▲16.6	278	▲6.4	389	▲23.2	2,741	▲32.9	▲31.8	▲48.1	39.8	102.6	2.7	61,050	2.3
12	12.7	6.3	284	▲18.2	256	▲39.4	3,058	▲10.2	▲26.1	▲8.7	9.7	103.1	2.9	79,588	1.2
2015.1	25.3	0.1	211	▲9.4	353	62.7	3,019	▲1.4	▲9.1	▲7.6	31.4	102.7	3.0	60,274	0.2
2	1.2	21.1	261	11.2	339	122.4	2,738	1.5	0.0	27.6	▲37.3	102.8	3.0	51,738	0.9
3	5.5	▲4.5	459	12.1	357	30.7	3,358	▲8.5	12.2	▲15.7	▲12.4	103.3	3.4	60,716	▲13.2
4	13.3	▲0.9	485	▲10.5	406	▲25.6	3,446	8.3	▲4.1	20.7	▲7.1	103.6	1.8	55,406	11.7
5	4.3	▲6.1	338	▲11.1	293	133.5	3,016	▲4.0	▲0.1	▲3.1	▲21.2	104.1	1.9	58,099	5.3
出所	財務省		西日本建設業保証		国土交通省				総務省		九州経済産業局				

項目 年月	乗用車				家計消費支出(勤労者世帯) 北九州・福岡・大都市圏				有効求人 倍率	倒産件数	預金残高		貸金残高		
	乗用車新規登録台数		軽乗用車販売台数		可処分所得		消費支出				億円	前年比(%)	億円	前年比(%)	
	台	前年比(%)	台	前年比(%)	円	前年比(%)	円	前年比(%)							
2011年	91,956	▲19.1	46,901	▲12.2	391,156	0.5	298,184	▲1.8	0.58	390	4.0	186,080	2.0	145,885	3.7
2012年	117,560	27.8	62,719	33.7	409,613	4.7	312,533	4.8	0.70	381	▲2.3	191,215	2.8	152,234	4.4
2013年	113,170	▲3.7	68,478	9.2	409,344	▲0.1	307,009	▲1.8	0.79	351	▲7.9	199,612	4.4	157,877	3.7
2014.4	6,352	▲13.4	5,306	8.6	347,403	▲4.6	304,005	1.9	0.92	40	37.9	202,209	2.9	158,502	3.8
5	6,814	▲3.7	5,429	19.0	290,936	▲8.7	270,166	▲15.2	0.93	33	▲10.8	202,446	4.2	158,481	4.1
6	8,772	0.7	5,866	2.9	561,502	4.7	289,016	5.8	0.94	31	0.0	202,094	2.6	158,284	3.9
7	9,797	3.5	5,787	▲7.1	444,282	▲2.6	291,672	▲17.4	0.97	23	▲4.2	200,849	2.4	159,376	4.3
8	7,170	▲4.8	4,354	▲14.8	363,883	▲2.1	280,395	▲11.2	0.98	20	5.3	203,939	3.3	159,866	4.3
9	10,378	▲11.8	6,362	▲3.5	317,951	▲6.0	291,706	▲0.8	1.00	25	▲30.6	201,664	3.1	161,552	4.4
10	8,200	▲10.9	6,659	▲10.1	386,452	8.3	320,073	11.6	1.01	36	▲10.0	202,159	3.4	161,906	4.3
11	7,813	▲19.1	5,088	▲6.7	330,083	▲3.0	287,279	▲0.6	1.03	24	▲27.3	205,436	3.8	162,545	3.9
12	8,091	▲10.9	4,966	▲6.0	623,472	▲18.0	314,158	▲16.1	1.06	28	40.0	206,173	3.3	164,399	4.1
2015.1	8,252	▲22.5	5,659	▲18.7	319,281	▲6.9	328,196	7.8	1.05	34	36.0	205,276	3.9	164,328	4.5
2	10,348	▲14.1	6,889	▲11.9	355,317	▲8.4	273,899	▲13.0	1.05	30	50.0	207,102	4.3	165,753	5.0
3	13,681	▲13.5	9,279	▲4.3	322,062	▲8.5	355,991	▲9.8	1.04	28	16.7	209,198	4.0	167,047	5.3
4	6,307	▲0.7	3,724	▲29.8	360,381	3.7	326,569	7.4	1.06	37	▲7.5	209,430	3.6	166,308	4.9
5	6,714	▲1.5	3,787	▲30.2	297,401	2.2	319,180	18.1	1.08	27	▲18.2	210,375	3.9	166,577	5.1
出所	日本自動車販売協会連合会		全国軽自動車協会連合会		総務省				厚生労働省		東京商工リサーチ		日本銀行		

(注) 掲載指標についての説明は全国の注釈参照。

項目 年月	鉱工業生産指数(2010年=100)										鉱工業出荷指数 (2010年=100)		鉱工業在庫指数 (2010年=100)	
	総合		食品		電子部品		はん用・生産用機械		輸送機械		季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)
	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)				
2011年	100.5	0.4	103.0	3.0	93.6	▲6.4	117.1	17.1	103.2	3.1	100.7	0.7	103.8	3.8
2012年	103.6	3.1	100.5	▲2.5	132.9	42.1	101.2	▲13.6	97.9	▲5.1	100.8	0.1	98.5	▲5.1
2013年	104.9	1.3	100.2	▲0.3	141.0	6.1	104.0	2.7	87.3	▲10.9	100.7	▲0.1	91.6	▲7.0
2014.4	109.6	9.5	94.5	▲7.3	156.7	17.7	97.4	33.7	96.1	15.7	106.2	9.6	91.5	0.0
5	106.5	▲4.9	102.0	2.6	147.3	▲20.6	117.6	26.6	82.4	▲5.3	100.8	▲5.1	86.3	▲3.4
6	106.5	1.8	97.0	1.1	154.1	▲2.5	105.5	12.8	89.7	12.4	101.2	4.5	84.8	▲5.6
7	111.2	5.5	97.4	▲2.6	179.1	34.9	96.7	▲10.8	86.9	2.0	106.3	6.7	83.5	▲8.6
8	112.2	2.9	98.0	▲2.1	188.7	37.2	96.8	▲23.2	71.4	▲20.8	105.0	1.4	85.6	▲5.7
9	113.0	6.7	93.4	▲8.2	188.0	31.6	109.2	▲3.1	80.7	▲8.1	106.5	7.2	94.5	2.6
10	117.7	9.9	98.3	▲4.9	183.4	24.7	121.8	▲2.1	83.0	▲4.7	118.6	14.0	91.7	▲0.5
11	116.2	4.7	98.3	▲1.4	198.5	25.8	116.3	▲9.9	90.9	▲4.9	115.8	5.6	93.6	▲0.1
12	116.3	7.5	95.2	▲1.2	209.2	44.5	124.0	3.3	82.0	▲13.4	115.1	9.2	92.9	3.9
2015.1	123.0	10.4	93.9	1.6	207.5	65.8	143.3	▲3.5	85.3	▲13.2	124.7	14.2	96.6	11.3
2	115.4	7.9	98.1	3.2	180.3	29.9	116.7	3.3	83.1	▲7.9	113.5	11.2	87.3	12.0
3	107.6	1.6	95.0	▲1.4	174.0	22.2	97.5	▲9.1	78.9	▲12.2	103.9	8.5	95.7	▲5.6
4	121.3	10.7	98.9	4.6	212.6	35.7	114.5	17.6	82.0	▲14.6	116.5	9.9	97.5	6.0
5														
出所	熊本県統計調査課													

項目 年月	貿易		公共工事 保証請負金額		建築着工統計 工事費予定額 (非居住用)		新設住宅着工戸数				消費者物価指数 (2010年=100) 熊本市		大型小売店 販売額		
	輸出金額	輸入金額	億円	前年比(%)	億円	前年比(%)	合計		持家	貸家	分譲	指数	前年比(%)	百万円	前年比(%)
	前年比(%)	前年比(%)					戸	前年比(%)							
2011年	4.5	16.8	1,713	▲14.9	1,385	22.8	10,063	13.8	4.7	7.6	112.1	99.5	▲0.5	166,476	▲2.5
2012年	▲2.3	1.3	1,806	5.4	1,042	▲24.8	11,521	14.5	▲3.8	34.1	21.1	99.1	▲0.4	165,154	▲0.8
2013年	47.1	4.9	2,575	42.6	1,183	13.6	12,078	4.8	19.3	1.7	▲19.7	99.1	0.0	166,640	0.9
2014.4	27.3	12.2	110	▲51.8	163	9.9	1,061	7.9	▲14.9	64.7	▲29.4	102.3	3.7	12,269	▲4.0
5	▲3.4	6.4	161	3.7	153	29.5	1,015	▲6.6	▲18.2	▲5.0	31.5	102.8	3.8	13,351	0.9
6	▲31.7	▲1.3	174	▲32.8	95	▲8.6	725	▲41.2	▲22.3	▲52.9	▲45.3	102.6	3.6	13,397	1.2
7	10.7	▲16.4	238	▲0.2	94	▲24.7	1,027	17.4	▲6.6	▲9.4	261.7	102.5	3.2	15,591	2.8
8	8.1	2.1	173	▲23.1	77	▲25.6	855	▲32.2	▲31.3	▲37.5	▲10.4	103.1	3.6	14,161	11.9
9	▲20.3	8.3	250	▲25.5	69	▲37.1	894	1.5	17.2	▲18.9	22.0	103.2	3.6	12,546	4.5
10	▲3.6	▲9.8	264	▲8.8	137	▲0.4	944	▲12.3	▲12.2	▲15.8	12.5	102.7	2.9	13,858	3.6
11	▲3.8	16.6	157	▲21.3	50	▲31.8	797	▲34.7	▲45.2	▲18.6	▲38.9	102.6	2.6	14,722	4.6
12	5.5	21.5	123	▲26.6	96	▲5.3	1,081	24.4	▲12.3	49.9	145.9	102.5	2.3	20,343	4.0
2015.1	55.2	▲0.5	112	▲5.0	84	41.6	859	22.4	▲1.1	134.9	▲54.1	101.8	2.0	15,345	4.7
2	14.3	30.6	74	▲10.1	130	60.5	785	▲37.5	▲21.1	▲47.7	▲43.9	101.8	2.2	13,452	13.7
3	17.9	▲5.6	181	▲13.5	96	117.5	970	6.5	16.0	▲31.0	▲15.5	102.4	2.3	14,045	▲17.0
4	▲3.9	10.8	104	▲4.9	84	▲48.1	818	▲22.9	▲7.6	▲33.2	▲57.8	103.0	0.7	13,084	6.6
5	25.6	▲20.4	91	▲43.3	42	▲72.5	870	▲14.3	▲11.7	▲36.2	54.1	103.3	0.5	13,514	1.2
出所	財務省		西日本建設業保証		国土交通省				総務省		九州経済産業局				

項目 年月	乗用車				家計消費支出(勤労者世帯) 熊本市				有効求人 倍率	倒産件数	預金残高		貸金残高		
	乗用車新規登録台数		軽乗用車販売台数		可処分所得		消費支出				億円	前年比(%)	億円	前年比(%)	
	台	前年比(%)	台	前年比(%)	円	前年比(%)	円	前年比(%)							
2011年	29,430	▲22.7	22,718	▲14.7	351,844	▲6.7	277,713	▲6.5	0.61	110	▲3.5	51,564	1.4	30,903	2.1
2012年	37,962	29.0	31,789	39.9	396,686	12.7	314,374	13.2	0.68	98	▲10.9	53,225	3.2	31,741	2.7
2013年	35,900	▲5.4	33,820	6.4	397,409	0.2	299,637	▲4.7	0.85	72	▲26.5	54,720	2.8	32,621	2.8
2014.4	2,187	▲11.0	2,744	5.2	311,623	▲8.7	317,339	19.5	0.95	6	50.0	55,302	2.9	32,312	2.5
5	2,060	▲6.6	2,796	16.1	277,050	▲17.5	292,458	▲21.6	0.98	3	▲57.1	55,739	3.1	33,074	4.2
6	2,783	0.8	3,264	15.5	494,723	▲11.7	289,510	17.5	0.97	7	40.0	56,518	3.7	33,053	3.7
7	3,085	▲1.2	2,754	▲13.6	456,542	9.6	306,575	15.9	0.99	6	20.0	55,392	3.5	33,097	3.8
8	2,290	▲4.3	2,264	▲5.7	368,576	▲4.7	293,066	10.3	1.01	5	0.0	55,551	3.0	33,134	3.7
9	3,220	▲10.0	3,371	5.5	357,183	19.0	307,205	▲7.4	1.03	5	▲28.6	54,969	2.5	33,632	3.5
10	2,472	▲16.0	2,255	▲1.9	405,166	11.2	329,324	6.1	1.04	6	20.0	54,573	2.0	33,402	4.6
11	2,490	▲20.9	2,602	0.8	349,615	14.1	279,357	▲4.3	1.04	6	20.0	55,139	2.4	33,467	4.3
12	2,368	▲13.4	3,416	37.5	728,744	11.2	360,406	▲15.3	1.06	4	▲20.0	55,705	1.8	33,937	4.0
2015.1	2,518	▲28.9	2,552	▲20.8	320,769	6.8	290,235	▲0.3	1.05	6	0.0	55,300	2.6	33,696	4.2
2	3,349	▲16.1	3,330	▲7.6	376,801	14.8	282,206	▲3.6	1.05	5	▲44.4	55,319	2.4	33,800	4.1
3	4,191	▲18.0	4,180	▲9.6	335,151	12.7	333,589	▲5.6	1.05	9	350.0	56,070	2.3	34,511	4.6
4	2,105	▲3.7	1,874	▲31.7	347,825	11.6	342,468	7.9	1.09	2	▲66.7	56,269	1.7	33,880	4.9
5	2,160	4.9	1,958	▲30.0	294,614	6.3	294,160	0.6	1.11	5	66.7	56,452	1.3	34,388	4.0
出所	日本自動車販売協会連合会		全国軽自動車協会連合会		総務省				厚生労働省		東京商工リサーチ		日本銀行		

(注) 掲載指標についての説明は全国の注釈参照。

経済指標 長崎 Nagasaki

項目 年月	鉱工業生産指数(2010年=100)										造船 生産高		機械等 生産高		電子部品 生産高	
	総合		はん用・生産用機械		食料品		電子部品		輸送機械		億円	前年比(%)	億円	前年比(%)	億円	前年比(%)
	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)						
2011年	94.3	▲5.7	99.4	▲0.6	99.8	▲0.2	81.7	▲18.3	101.0	1.0	1,963	0.4	1,982	▲20.9	▲21.5	
2012年	93.1	▲1.3	65.0	▲34.7	104.8	5.0	81.3	▲0.5	119.8	18.6	1,626	▲17.2	2,080	5.0	▲16.3	
2013年	84.4	▲9.3	84.9	30.7	109.1	4.1	49.2	▲39.5	93.7	▲21.7	1,611	▲0.9	2,496	20.0	▲2.3	
2014.4	87.7	12.3	133.3	89.6	104.7	▲4.9	52.1	0.0	81.1	▲9.5	135	20.6	165	▲5.7	37.1	
5	84.2	▲1.6	131.1	94.6	107.2	▲3.4	46.3	▲11.7	83.4	▲5.9	143	▲0.3	278	26.5	30.8	
6	83.8	11.3	142.0	99.2	106.7	▲6.8	43.1	▲8.8	80.8	▲10.1	98	▲49.7	151	▲39.3	▲0.8	
7	78.1	▲8.2	130.3	58.8	106.6	1.1	44.7	▲10.6	72.4	▲28.6	131	▲5.0	180	▲20.1	5.0	
8	72.1	▲16.7	111.3	29.5	106.9	1.3	38.7	▲14.1	78.6	▲16.8	144	10.4	167	▲22.8	25.9	
9	75.6	▲14.5	114.8	24.1	108.7	3.7	42.8	▲4.2	72.5	▲31.0	220	75.1	188	▲12.4	30.6	
10	82.3	▲7.3	121.8	18.5	105.5	▲3.2	42.0	9.0	81.6	▲14.1	148	10.3	235	38.1	26.0	
11	90.6	▲3.3	111.7	5.7	107.2	▲6.7	54.3	18.9	81.5	▲20.6	123	▲0.2	193	▲35.1	25.7	
12	86.0	▲5.0	123.8	5.5	107.0	▲1.0	42.5	▲10.3	81.2	▲15.6	226	87.2	193	▲9.1	30.2	
2015.1	96.0	5.0	104.2	▲13.6	113.8	2.9	40.5	▲6.7	99.3	7.3	132	0.2	218	▲8.7	25.1	
2	77.6	▲21.6	82.4	▲32.3	105.8	▲1.9	57.1	▲19.8	81.2	▲11.9	142	16.0	223	8.8	20.2	
3	84.1	▲4.7	110.9	▲16.1	105.8	2.9	39.5	▲21.0	80.6	▲3.9	149	38.4	219	12.0	▲19.7	
4	88.9	0.6	147.9	12.4	118.9	13.0	35.3	▲33.3	73.9	▲9.3	153	13.3	24	▲85.4	▲16.9	
5																▲1.5
出所	長崎県統計課										三菱重工長崎造船所、佐世保重工			日本銀行長崎支店		

項目 年月	貿易		漁業水揚金額		公共工事 保証請負金額		建築着工統計 工事費予定額 (非居住用)		新設住宅着工戸数				観光施設 入場者数 (主要6施設合計)		消費者物価指数 (2010年=100) 長崎市		
	輸出金額	輸入金額	百万円	前年比(%)	億円	前年比(%)	億円	前年比(%)	合計	持家	貸家	分譲	千人	前年比(%)	指数	前年比(%)	
	前年比(%)	前年比(%)							戸	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)				
2011年	▲12.2	18.5	63,871	11.5	1,590	▲10.4	761	35.9	5,501	0.6	0.9	▲8.2	72.5	2,013	▲10.2	99.5	▲0.5
2012年	▲14.5	2.4	64,448	0.9	1,601	0.7	803	5.5	6,344	15.3	14.9	22.5	▲7.3	1,995	▲0.9	99.5	0.0
2013年	▲8.6	9.9	60,044	▲6.8	1,973	23.2	688	▲14.3	6,661	5.0	2.8	9.8	1.1	2,181	9.3	99.7	0.2
2014.4	▲34.0	▲17.0	5,537	▲0.6	144	15.3	62	▲8.8	588	▲12.1	1.8	▲18.7	▲27.1	166	▲3.7	102.3	3.3
5	▲21.1	▲1.4	4,865	▲4.6	86	▲5.0	40	▲48.0	598	20.1	18.1	▲10.3	326.9	270	▲0.3	102.7	3.4
6	▲40.5	29.3	4,430	▲14.6	222	31.9	49	▲19.7	468	▲22.5	▲5.0	▲29.2	▲65.3	144	4.7	102.7	3.4
7	▲57.0	▲4.4	4,502	1.0	204	▲15.1	62	103.2	720	▲2.4	▲11.0	▲18.8	52.8	149	▲6.3	102.7	3.2
8	63.1	7.2	4,157	▲16.0	218	39.6	88	106.5	544	▲6.2	▲7.5	▲13.3	23.2	245	▲9.5	102.9	2.9
9	56.7	▲11.2	4,319	▲4.0	187	▲35.4	95	151.2	585	▲4.6	▲8.4	6.6	▲43.1	182	▲3.6	103.2	2.9
10	227.3	39.3	4,312	▲2.7	170	▲20.6	58	3.3	358	▲25.9	▲35.0	▲32.3	▲22.2	190	▲9.1	103.0	2.8
11	▲23.0	▲25.5	4,772	▲0.0	92	▲37.0	50	30.3	471	13.2	▲10.5	42.3	80.8	230	10.6	102.5	2.0
12	160.9	▲27.9	5,511	▲6.0	90	▲35.1	33	▲60.5	445	▲19.4	▲29.7	▲33.5	305.0	144	6.5	102.8	2.0
2015.1	84.9	▲14.8	5,888	14.9	90	▲22.4	59	71.0	563	▲7.9	▲17.7	6.8	▲21.4	108	▲11.3	102.5	2.1
2	▲27.9	▲23.6	5,145	26.6	97	▲21.9	24	▲67.1	463	▲0.6	0.8	▲1.0	▲13.6	136	▲8.6	102.6	2.4
3	▲45.0	▲22.9	5,596	25.2	208	▲21.9	45	▲89.0	678	58.0	1.6	232.2	▲60.7	216	▲2.5	102.9	2.5
4	47.5	▲22.5	4,840	▲12.6	205	42.7	130	111.1	400	▲32.0	▲29.1	▲33.3	▲38.5	166	0.1	103.3	1.0
5	▲24.5	7.8	4,873	0.2	69	▲19.7	93	133.1	487	▲18.6	▲12.3	▲24.9	▲20.7	295	9.2	103.7	1.0
出所	財務省		県内主要4魚市場		西日本建設業保証		国土交通省				長崎県観光振興推進本部		総務省				

項目 年月	大型小売店 販売額		乗用車				家計消費支出(勤労者世帯) 長崎市				有効 求人 倍率	倒産件数	預金残高		貸金残高		
	百万円	前年比(%)	台	前年比(%)	台	前年比(%)	円	前年比(%)	円	前年比(%)			円	前年比(%)	円	前年比(%)	
							可処分所得	消費支出									
2011年	121,789	▲1.9	18,633	▲21.2	18,210	▲14.8	336,448	▲24.9	271,058	▲13.0	0.58	78	8.3	42,677	1.6	23,035	1.0
2012年	117,232	▲3.7	23,255	24.8	24,759	36.0	333,216	▲1.0	275,314	1.6	0.64	76	▲2.6	43,379	1.6	23,456	1.8
2013年	119,990	2.4	21,657	▲6.9	26,688	7.8	391,917	17.6	308,148	11.9	0.73	49	▲35.5	45,357	4.6	24,639	5.0
2014.4	8,292	▲8.6	1,302	▲8.6	2,156	9.1	317,007	▲16.8	254,649	▲29.8	0.81	8	60.0	46,634	4.9	24,521	4.8
5	9,261	▲3.6	1,276	▲6.6	2,245	23.1	278,028	▲7.8	239,276	▲9.5	0.84	6	100.0	46,733	5.4	24,846	4.7
6	9,186	▲4.7	1,633	3.4	2,511	4.0	395,452	▲39.7	276,139	1.7	0.85	5	25.0	46,705	3.8	24,757	4.6
7	10,632	▲3.5	1,947	1.6	2,116	▲15.2	360,684	▲4.0	278,303	▲14.3	0.86	2	▲50.0	46,517	4.2	24,946	4.6
8	9,887	0.8	1,391	2.8	1,706	▲6.7	322,407	▲16.1	315,806	▲2.0	0.87	8	33.3	46,701	4.2	25,001	4.6
9	8,732	▲1.0	1,892	▲5.8	2,694	9.7	296,495	▲8.1	390,090	7.6	0.86	4	▲33.3	46,456	4.1	25,023	4.3
10	9,392	0.6	1,601	▲12.2	2,017	8.4	367,288	▲0.8	267,041	▲14.6	0.83	10	400.0	46,238	3.4	25,071	4.4
11	10,107	▲0.3	1,511	▲14.8	2,285	11.8	331,063	15.0	267,826	▲2.7	0.85	3	0.0	46,659	3.3	25,233	4.4
12	13,106	▲0.8	1,562	▲4.8	2,427	10.8	803,794	30.6	384,842	24.2	0.85	4	▲33.3	46,661	2.9	25,473	3.4
2015.1	9,685	▲2.0	1,709	▲22.2	2,129	▲19.4	350,901	28.9	297,735	0.6	0.89	6	0.0	46,695	3.5	25,471	3.6
2	8,457	▲1.9	1,996	▲17.4	2,317	▲18.2	368,527	22.2	256,109	▲6.7	0.93	4	▲33.3	47,107	3.8	25,520	3.4
3	9,802	▲11.5	2,556	▲17.9	3,179	▲10.5	318,502	21.7	287,428	▲38.5	0.97	3	50.0	47,685	2.6	25,831	3.3
4	9,059	9.2	1,230	▲5.5	1,428	▲33.8	308,929	▲2.5	329,174	29.3	0.96	3	▲62.5	47,651	2.2	25,242	2.9
5	9,487	2.4	1,257	▲1.5	1,518	▲32.4	292,666	5.3	262,414	9.7	1.00	4	▲33.3	47,822	2.3	25,551	2.8
出所	九州経済産業局		日本自動車販売協会連合会		全国軽自動車協会連合会		総務省				厚生労働省	東京商工リサーチ	日本銀行				

(注) 全国と共通の指標については全国の注釈参照。漁業水揚金額は、長崎、佐世保、北松、松浦の4市場の合計。
観光施設入場者数は、グラバー園、島原城、雲仙仁田道、西海パルシーリゾート、平戸城、堂崎天主堂の合計、ただし、雲仙仁田道は自動車の通行台数。

項目 年月	鉱工業生産指数(2010年=100)										鉱工業出荷指数 (2010年=100)		鉱工業在庫指数 (2010年=100)	
	総合		一般機械		電子部品		化学		食料品		季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)
	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)				
2011年	100.7	0.7	107.6	7.6	86.1	▲13.9	103.6	3.6	102.0	2.0	98.5	▲1.5	102.1	2.1
2012年	96.1	▲4.6	100.1	▲7.0	74.4	▲13.6	101.8	▲1.8	100.6	▲1.3	93.0	▲5.6	101.8	▲0.2
2013年	92.4	▲3.9	72.4	▲27.7	47.1	▲36.6	92.2	▲9.4	96.3	▲4.3	96.1	3.3	92.8	▲8.8
2014.4	95.5	2.3	78.5	66.8	50.4	10.0	107.8	8.5	89.2	▲5.7	98.3	2.7	78.0	▲16.0
5	102.4	3.9	77.1	▲42.1	49.7	4.1	119.4	21.4	96.8	▲8.4	103.7	5.3	75.7	▲19.4
6	93.4	2.1	60.6	▲18.0	49.7	▲0.6	88.7	▲3.3	90.7	▲6.1	97.2	2.2	71.9	▲23.8
7	97.8	2.7	68.2	▲0.4	44.3	▲0.8	88.9	▲7.3	93.2	▲3.4	100.1	1.1	71.9	▲25.2
8	100.3	6.8	79.9	27.3	55.0	16.7	102.7	7.1	99.8	0.9	102.5	4.7	74.7	▲15.6
9	97.1	3.7	69.0	7.1	42.6	6.6	97.5	▲4.2	99.3	4.3	99.3	2.1	76.6	▲18.1
10	90.3	4.6	69.7	▲4.3	50.6	15.2	87.6	13.9	96.4	2.7	93.1	▲0.7	75.5	▲9.8
11	84.8	0.2	68.2	▲6.1	43.0	▲0.4	74.9	▲8.3	89.2	▲1.8	92.1	▲1.8	75.4	▲10.2
12	87.5	2.2	62.6	▲5.6	48.4	10.0	82.8	0.3	94.1	▲2.7	97.1	4.5	72.9	▲12.4
2015.1	101.9	1.9	84.9	31.8	56.7	13.0	116.1	1.8	88.9	3.5	102.4	2.2	82.5	▲8.6
2	94.6	▲1.7	87.3	▲3.9	49.1	▲1.5	90.3	▲1.2	86.7	▲2.9	103.2	4.9	85.7	▲2.2
3	105.4	2.0	108.4	23.3	56.3	▲1.8	121.9	0.9	98.6	▲1.0	105.2	4.0	95.8	17.9
4	86.4	▲9.5	52.4	▲30.5	47.2	▲8.1	89.2	▲15.4	93.6	0.3	89.6	▲8.1	87.8	9.6
5														
出所	佐賀県統計分析課													

項目 年月	貿易		公共工事 保証請負金額		建築着工統計 工事費予定額 (非居住用)		新設住宅着工戸数				消費者物価指数 (2010年=100) 佐賀市		大型小売店 販売額		
	輸出金額	輸入金額	億円	前年比(%)	億円	前年比(%)	合計		持家	貸家	分譲	指数	前年比(%)	百万円	前年比(%)
	前年比(%)	前年比(%)					戸	前年比(%)							
2011年	▲39.4	▲12.1	978	▲7.5	662	2.3	4,417	8.4	2.9	10.6	60.9	99.4	▲0.7	70,066	0.3
2012年	15.6	11.4	1,077	10.1	596	▲10.0	4,524	2.4	▲0.8	12.3	▲20.2	99.3	▲0.1	67,989	▲3.0
2013年	11.7	▲2.1	1,178	9.4	684	14.6	5,568	23.1	23.4	13.5	71.2	99.4	0.2	67,244	▲1.1
2014.4	474.0	53.1	135	19.8	110	79.9	527	▲3.5	▲29.7	▲26.8	71.3	101.8	3.0	4,741	▲9.2
5	▲15.0	12.2	80	▲8.4	89	108.9	372	9.7	▲33.3	8.9	337.0	102.4	3.3	5,199	▲3.3
6	▲9.8	▲4.3	120	9.9	63	43.1	482	22.3	▲6.3	39.1	132.1	102.2	3.0	5,164	▲3.7
7	▲89.5	11.7	118	▲33.5	36	▲34.6	433	12.8	▲35.5	96.8	25.9	102.5	3.3	5,774	▲1.4
8	▲12.9	15.0	90	▲14.0	50	18.5	319	▲26.8	▲36.0	48.5	▲78.6	102.9	3.2	5,682	0.9
9	1,789.2	29.9	111	5.3	52	▲19.5	291	▲48.2	▲33.2	▲54.5	▲74.8	102.9	2.8	4,845	▲2.3
10	330.3	35.5	146	▲0.1	71	17.3	398	▲6.1	▲14.9	9.1	▲40.0	103.0	2.9	5,277	▲2.2
11	▲62.4	▲33.0	82	▲5.5	44	▲42.5	338	▲45.3	▲34.2	▲53.3	▲75.6	102.7	2.8	5,542	▲1.7
12	132.4	60.8	79	7.9	85	▲5.8	548	▲12.7	▲14.1	3.2	▲69.4	102.5	2.2	7,287	0.0
2015.1	2,490.0	▲31.5	89	73.2	28	▲38.6	377	9.6	▲12.2	25.8	177.8	102.0	2.0	5,433	▲1.0
2	▲75.8	35.2	59	72.9	40	▲39.5	381	▲10.8	▲17.0	61.4	▲82.9	101.9	2.3	4,861	1.3
3	148.0	▲16.2	61	▲26.0	34	▲17.8	233	▲33.6	▲6.4	▲64.0	▲46.2	102.4	2.4	5,483	▲13.0
4	▲30.3	▲9.5	177	31.1	92	▲16.1	371	▲29.6	17.4	19.3	▲90.1	102.7	0.9	5,275	11.3
5	▲34.6	▲11.8	50	▲37.2	20	▲77.9	408	9.7	16.4	101.8	▲80.5	103.1	0.7	5,417	4.2
出所	財務省		西日本建設業保証		国土交通省				総務省		九州経済産業局				

項目 年月	乗用車				家計消費支出(勤労者世帯) 佐賀市				有効求人 倍率	倒産件数	預金残高		貸金残高		
	乗用車新規登録台数		軽乗用車販売台数		可処分所得		消費支出				倍	件	億円	前年比(%)	億円
	台	前年比(%)	台	前年比(%)	円	前年比(%)	円	前年比(%)							
2011年	12,548	▲23.0	11,414	▲11.8	429,542	▲5.8	314,463	▲3.7	0.62	45	▲4.3	21,268	0.8	11,217	0.0
2012年	15,960	27.2	15,561	36.3	430,581	0.2	322,774	2.6	0.72	57	26.7	21,627	1.7	11,261	0.4
2013年	15,018	▲5.9	16,696	7.3	436,794	1.4	320,917	▲0.6	0.78	51	▲10.5	22,454	3.8	11,621	3.2
2014.4	880	▲7.2	1,335	11.3	439,669	5.8	355,352	▲7.7	0.90	1	▲83.3	22,779	3.5	11,625	3.9
5	909	▲4.1	1,313	10.6	325,767	13.6	268,202	▲11.2	0.91	3	▲40.0	22,778	3.0	11,776	4.2
6	1,154	4.4	1,466	6.9	644,545	11.2	268,254	▲5.7	0.93	4	33.3	22,702	0.6	11,761	3.2
7	1,272	1.6	1,641	3.8	432,307	▲4.0	340,131	9.4	0.91	2	▲71.4	22,569	1.3	11,826	3.5
8	920	▲6.2	1,130	▲2.6	388,864	▲12.7	295,397	▲0.1	0.92	2	▲60.0	22,664	2.3	11,907	3.1
9	1,308	▲8.9	1,596	1.8	376,367	11.6	274,705	1.3	0.91	3	▲66.7	22,260	1.9	11,907	4.3
10	1,177	▲2.5	1,264	▲0.9	420,251	▲8.0	280,643	▲4.4	0.89	4	100.0	22,206	1.3	11,886	4.1
11	1,068	▲18.0	1,609	14.8	366,445	11.3	290,665	▲9.1	0.89	4	33.3	22,478	1.5	11,966	4.0
12	1,004	▲19.2	1,658	22.4	757,088	▲6.3	328,824	▲8.4	0.86	2	0.0	22,662	0.9	12,130	4.4
2015.1	1,200	▲23.0	1,311	▲28.2	354,123	3.6	334,994	11.4	0.87	3	▲40.0	22,659	2.4	12,084	4.9
2	1,445	▲17.0	1,513	▲17.3	428,934	0.7	307,281	14.0	0.87	3	▲25.0	22,738	2.4	12,108	4.6
3	1,811	▲14.0	2,216	▲3.0	343,162	6.0	342,889	1.2	0.88	1	▲66.7	23,314	2.7	12,261	4.4
4	839	▲4.7	912	▲31.7	417,101	▲5.1	296,732	▲16.5	0.88	2	100.0	23,102	1.4	12,144	4.5
5	924	1.7	993	▲24.4	323,229	▲0.8	296,439	10.5	0.89	2	▲33.3	23,157	1.7	12,349	4.9
出所	日本自動車販売協会連合会		全国軽自動車協会連合会		総務省				厚生労働省		東京商工リサーチ		日本銀行		

(注) 掲載指標についての説明は全国の注釈参照。

項目 年月	鉱工業生産指数(2010年=100)										鉱工業出荷指数 (2010年=100)		鉱工業在庫指数 (2010年=100)	
	総合		鉄鋼		はん用・生産用機械		電子部品		化学		季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)
	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)				
2011年	100.5	0.4	101.6	1.5	97.8	▲2.2	100.3	0.2	107.3	7.3	98.6	▲1.4	108.4	8.4
2012年	99.9	▲0.6	105.0	3.4	99.7	2.0	111.1	10.8	96.5	▲10.1	99.3	0.7	102.4	▲5.5
2013年	97.3	▲2.6	106.1	1.0	102.7	3.0	84.8	▲23.7	106.6	10.4	95.5	▲3.8	104.0	1.6
2014.4	96.0	▲7.7	99.4	▲17.7	107.6	5.3	86.0	▲17.8	74.9	▲41.7	92.7	▲9.9	95.9	▲9.4
5	97.0	▲3.2	101.3	▲7.0	107.9	8.9	88.0	12.9	93.2	▲29.1	94.3	▲3.6	92.9	▲14.0
6	92.5	▲0.1	104.0	▲1.3	106.2	13.3	87.0	17.7	77.5	▲27.8	91.1	▲0.9	87.9	▲18.5
7	93.3	▲3.2	107.1	▲2.8	104.0	2.0	81.0	4.1	93.5	▲6.5	89.7	▲7.1	91.6	▲12.9
8	93.6	▲4.3	105.0	▲2.9	104.1	▲4.0	77.0	▲2.6	104.2	7.9	90.1	▲6.9	98.7	▲4.7
9	96.8	1.1	102.5	▲3.2	107.9	7.3	82.3	▲5.5	106.9	9.8	94.3	2.6	91.4	▲13.7
10	95.6	▲1.9	105.1	1.1	98.4	▲7.4	85.0	6.7	103.0	▲0.3	91.7	▲4.2	93.7	▲8.2
11	94.9	▲4.5	99.4	▲6.8	104.5	▲15.0	79.5	▲0.2	103.6	3.5	93.9	▲3.8	92.6	▲7.8
12	96.5	1.5	99.3	▲4.0	121.6	21.4	75.9	▲7.9	98.7	▲2.6	92.9	▲0.9	90.6	▲7.9
2015.1	102.4	▲0.1	102.8	▲1.7	110.8	4.1	90.3	▲12.3	106.4	4.7	98.1	▲0.2	93.9	▲2.7
2	101.0	▲1.7	91.7	▲15.2	120.9	14.7	93.6	▲3.6	102.1	▲6.4	97.4	▲0.4	93.9	▲3.2
3	105.3	2.3	103.5	▲2.6	115.3	14.7	95.9	3.1	111.7	29.6	98.7	2.0	93.4	▲0.5
4	104.2	8.5	114.8	15.5	111.8	3.9	98.0	13.9	113.4	51.4	98.5	6.2	98.7	2.9
5														
出所	大分県統計調査課													

項目 年月	貿易		公共工事 保証請負金額		建築着工統計 工事費予定額 (非居住用)		新設住宅着工戸数				消費者物価指数 (2010年=100) 大分市		大型小売店 販売額		
	輸出金額	輸入金額	億円	前年比(%)	億円	前年比(%)	合計		持家	貸家	分譲	指数	前年比(%)	百万円	前年比(%)
	前年比(%)	前年比(%)					戸	前年比(%)							
2011年	13.5	24.5	1,288	▲16.1	958	29.2	5,691	▲1.2	1.9	▲12.3	30.3	99.7	▲0.3	124,448	0.9
2012年	▲10.8	▲5.2	1,396	8.3	635	▲33.8	6,670	17.2	1.4	19.6	65.1	99.9	0.2	123,046	▲1.1
2013年	21.5	22.3	1,732	24.1	1,006	58.5	7,431	11.4	16.0	21.9	▲18.8	100.1	0.2	121,812	▲1.0
2014.4	▲37.8	▲5.2	219	▲15.4	47	▲74.4	635	6.0	8.4	10.9	▲15.6	103.4	3.7	8,339	▲8.5
5	▲33.5	▲24.5	78	▲42.4	22	▲63.3	376	▲39.6	▲35.5	▲40.2	▲40.8	103.7	4.1	9,243	▲3.1
6	▲23.2	▲0.7	153	4.3	76	▲35.7	556	▲8.4	▲4.0	▲15.4	9.3	103.6	3.8	9,118	▲2.7
7	▲35.0	6.8	135	24.5	86	78.5	559	▲15.7	▲29.7	▲19.3	64.6	103.7	3.5	10,730	▲3.1
8	▲27.3	▲3.8	106	▲13.0	54	▲27.5	368	▲47.4	▲34.5	▲71.0	▲21.6	104.1	3.6	9,766	▲0.5
9	1.0	20.6	199	▲11.9	82	▲59.7	792	39.4	▲15.0	60.8	317.8	104.2	3.2	8,740	▲1.3
10	▲18.3	5.4	164	▲1.3	61	7.3	543	▲13.8	▲15.1	3.8	▲62.5	103.9	2.9	9,700	▲1.0
11	▲14.3	▲4.1	49	▲36.5	88	49.7	387	▲51.6	▲42.4	▲54.0	▲69.4	103.4	2.3	10,255	▲0.6
12	▲2.3	10.9	80	▲27.2	59	▲14.5	469	▲24.5	▲33.9	0.0	▲50.0	103.3	2.3	13,562	▲2.6
2015.1	▲16.2	▲15.9	94	38.3	41	9.0	570	26.7	4.3	2.7	320.0	103.1	2.3	9,991	▲2.9
2	▲14.5	▲32.1	52	13.8	62	99.3	632	▲0.6	▲1.7	▲22.1	161.1	103.0	2.0	8,869	0.0
3	▲4.2	▲18.0	77	▲28.0	78	41.7	536	36.0	18.4	53.9	51.4	103.6	2.4	10,224	▲16.1
4	27.4	▲23.7	266	21.7	46	▲3.1	479	▲24.6	▲29.3	▲52.1	4.6	103.9	0.5	8,929	7.1
5	30.7	▲12.8	96	22.2	98	340.5	521	38.6	25.3	45.0	82.2	104.7	1.0	9,248	0.1
出所	財務省		西日本建設業保証		国土交通省				総務省		九州経済産業局				

項目 年月	乗用車				家計消費支出(勤労者世帯) 大分市				有効求人 倍率	倒産件数	預金残高		貸金残高		
	乗用車新規登録台数		軽乗用車販売台数		可処分所得		消費支出				億円	前年比(%)	億円	前年比(%)	
	台	前年比(%)	台	前年比(%)	円	前年比(%)	円	前年比(%)							
2011年	20,956	▲18.7	15,760	▲12.7	446,998	5.2	320,368	8.9	0.66	66	▲7.0	33,559	2.2	21,078	▲0.5
2012年	25,785	23.0	21,346	35.4	464,878	4.0	341,720	6.7	0.73	67	1.5	33,721	0.5	21,245	0.8
2013年	24,796	▲3.8	22,690	6.3	448,318	▲3.6	342,834	0.3	0.78	58	▲13.4	33,422	▲0.9	21,151	▲0.4
2014.4	1,561	▲2.1	1,707	7.8	338,620	▲8.5	272,294	▲20.7	0.88	3	▲50.0	34,960	1.7	21,691	2.4
5	1,605	▲1.5	1,643	5.9	312,947	▲6.6	305,534	▲6.1	0.90	5	▲44.4	35,115	2.9	21,808	2.9
6	1,879	3.6	1,994	9.4	621,106	5.2	273,292	▲17.7	0.89	6	50.0	35,238	1.4	21,771	2.4
7	2,161	3.1	2,159	▲6.0	427,883	▲19.7	286,851	▲9.2	0.90	1	▲83.3	34,721	1.7	21,932	3.2
8	1,648	▲0.6	1,461	▲15.4	373,059	▲15.9	287,111	▲31.8	0.92	4	▲33.3	35,021	1.8	22,032	3.3
9	2,262	▲10.0	2,357	11.8	355,139	▲0.7	301,316	▲4.2	0.93	0	▲100.0	34,553	1.6	22,197	4.0
10	1,886	▲2.7	1,470	▲5.4	395,808	▲10.1	345,502	16.9	0.94	3	▲40.0	34,453	1.5	22,116	3.7
11	1,809	▲17.6	1,843	10.4	396,314	6.0	304,049	▲3.7	0.95	1	▲75.0	35,070	2.2	22,331	3.5
12	1,711	▲12.8	2,692	42.2	782,127	▲0.2	331,714	▲29.0	0.95	4	33.3	35,354	1.8	22,620	4.2
2015.1	1,939	▲23.7	2,026	▲12.5	350,502	▲7.5	339,518	▲16.1	0.97	7	▲22.2	35,086	2.6	22,612	4.7
2	2,342	▲17.1	2,284	▲8.1	417,788	12.6	330,093	1.7	0.99	7	40.0	35,206	2.3	22,722	4.9
3	3,030	▲14.9	2,850	▲7.3	348,873	1.3	351,038	▲2.6	1.04	7	600.0	35,642	1.3	22,798	4.3
4	1,551	▲0.6	1,285	▲24.7	379,167	12.0	342,420	25.8	1.03	6	100.0	35,521	1.6	22,613	4.3
5	1,470	▲8.4	1,338	▲18.6	384,113	22.7	284,276	▲7.0	1.07	3	▲40.0	35,821	2.0	22,658	3.9
出所	日本自動車販売協会連合会		全国軽自動車協会連合会		総務省				厚生労働省		東京商工リサーチ		日本銀行		

(注) 掲載指標についての説明は全国の注釈参照。

項目 年月	鉱工業生産指数(2010年=100)										鉱工業出荷指数 (2010年=100)		鉱工業在庫指数 (2010年=100)	
	総合		電子部品		化学		電気・情報通信		食料品		季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)
	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)				
2011年	97.4	▲2.6	78.3	▲21.7	104.6	4.6	118.9	18.9	96.5	▲3.5	101.4	1.4	111.4	11.4
2012年	98.2	0.8	70.3	▲10.3	101.6	▲2.9	122.1	2.7	104.3	8.1	102.8	1.4	116.5	4.5
2013年	98.2	0.0	76.0	8.1	94.4	▲7.1	131.9	8.0	104.2	▲0.1	105.5	2.6	109.0	▲6.4
2014.4	101.1	3.4	77.5	4.1	106.0	22.4	137.6	7.5	109.8	4.8	100.3	▲3.0	114.8	5.5
5	102.5	4.7	78.7	21.8	92.3	0.5	141.1	2.6	111.4	7.4	105.3	1.7	116.6	7.2
6	102.8	10.2	81.1	15.3	101.1	12.0	138.3	5.1	116.9	23.2	105.5	2.6	120.3	10.4
7	100.2	2.2	80.2	9.9	96.7	▲7.8	130.6	▲3.4	108.6	12.5	104.1	▲0.6	118.9	9.7
8	101.3	▲2.2	83.2	▲13.8	97.1	4.0	136.7	0.6	106.1	▲0.7	103.2	▲5.4	118.7	10.0
9	102.8	4.0	85.1	4.1	103.9	10.8	135.4	0.5	107.4	▲0.1	105.8	▲3.5	119.1	10.8
10	103.1	3.4	96.6	21.4	101.6	4.6	133.6	▲0.6	107.2	0.4	105.6	▲0.1	118.4	8.2
11	102.7	1.2	98.9	28.8	101.1	8.0	135.0	1.6	108.4	▲1.7	105.9	▲0.6	119.3	11.0
12	103.0	3.3	103.1	35.9	102.3	2.2	135.8	▲0.1	104.2	▲1.7	106.7	0.6	120.8	12.8
2015.1	105.2	3.0	104.2	37.7	107.9	0.4	131.3	0.4	103.8	▲2.3	104.3	0.4	122.1	12.8
2	103.2	1.2	102.1	35.9	98.7	▲5.1	135.4	0.4	103.8	▲6.5	101.0	▲5.4	120.8	9.1
3	102.6	2.1	102.2	33.2	111.9	▲1.5	139.6	▲2.5	95.1	▲6.6	98.9	▲6.4	126.4	15.9
4	98.7	▲2.4	111.7	44.2	102.1	▲3.7	128.2	▲6.8	90.4	▲17.7	106.4	6.1	126.4	10.1
5														
出所	宮崎県統計調査課													

項目 年月	貿易		公共工事 保証請負金額		建築着工統計 工事費予定額 (非居住用)		新設住宅着工戸数				消費者物価指数 (2010年=100) 宮崎市		大型小売店 販売額		
	輸出金額	輸入金額	億円	前年比(%)	億円	前年比(%)	合計		持家	貸家	分譲	指数	前年比(%)	百万円	前年比(%)
	前年比(%)	前年比(%)					戸	前年比(%)							
2011年	2.4	16.8	1,375	▲6.7	622	▲5.6	6,076	5.9	9.0	1.4	12.1	99.8	▲0.2	89,145	▲2.5
2012年	14.2	▲11.9	1,366	▲0.7	520	▲16.4	6,754	11.2	0.1	13.8	55.1	99.9	0.1	88,398	▲0.8
2013年	22.1	0.6	1,695	24.2	735	41.2	7,869	16.5	16.6	14.7	30.9	100.1	0.2	87,717	▲0.8
2014.4	8.9	31.9	161	13.6	49	▲58.0	485	▲27.9	▲8.6	▲10.6	▲79.7	103.0	3.2	6,211	▲10.5
5	▲1.6	24.1	95	▲56.9	54	▲30.6	615	▲18.1	▲13.3	▲13.2	▲50.0	103.0	3.3	6,705	▲5.1
6	▲21.0	30.7	169	11.2	36	▲57.0	438	▲4.8	23.9	▲30.8	▲35.7	102.9	3.2	6,639	▲2.7
7	3.1	18.9	160	0.6	74	37.5	552	▲6.0	▲25.6	9.5	49.1	103.4	3.6	7,582	▲3.3
8	17.3	65.8	101	▲40.0	72	2.5	619	▲12.2	▲25.6	▲22.7	231.4	103.9	3.5	7,337	3.1
9	8.7	29.1	165	▲21.7	54	31.3	521	▲39.0	▲23.9	▲44.5	▲65.9	104.2	3.4	6,343	1.9
10	1.6	34.2	158	▲1.0	73	▲14.0	547	▲36.3	▲30.3	▲19.3	▲80.5	103.9	3.1	6,967	0.7
11	▲4.3	▲2.9	78	▲14.6	64	27.1	645	▲23.2	▲31.1	2.9	▲61.0	103.4	2.8	7,527	1.9
12	25.5	38.2	87	12.2	26	▲59.1	415	▲34.3	▲34.5	▲44.4	57.7	103.6	2.7	9,962	0.5
2015.1	30.3	34.2	82	27.2	20	▲53.5	418	▲29.4	▲10.0	▲52.0	▲33.9	103.3	2.5	7,050	▲0.7
2	13.8	▲7.0	56	▲47.8	108	178.9	455	▲25.4	▲32.1	▲5.6	▲26.5	103.1	2.5	6,225	2.1
3	8.2	40.9	101	▲25.5	92	169.2	375	▲6.5	40.3	▲49.5	32.5	103.5	2.3	7,145	▲14.4
4	3.4	11.0	66	▲58.6	90	83.0	711	46.6	▲4.7	115.0	25.0	103.8	0.8	6,925	11.5
5	21.3	▲3.3	62	▲34.6	31	▲41.7	469	▲23.7	▲23.0	▲23.3	▲20.3	103.9	0.9	7,257	8.2
出所	財務省		西日本建設業保証		国土交通省				総務省		九州経済産業局				

項目 年月	乗用車				家計消費支出(勤労者世帯) 宮崎市				有効求人 倍率	倒産件数	預金残高		貸金残高		
	乗用車新規登録台数		軽乗用車販売台数		可処分所得		消費支出				倍	件	前年比(%)	億円	前年比(%)
	台	前年比(%)	台	前年比(%)	円	前年比(%)	円	前年比(%)							
2011年	18,199	▲22.9	14,632	▲14.3	374,940	1.3	287,889	▲4.4	0.58	57	▲12.3	25,446	2.4	17,771	3.0
2012年	23,989	31.8	20,879	42.7	326,592	▲12.9	263,379	▲8.5	0.69	68	19.3	25,954	2.0	18,421	3.7
2013年	21,773	▲9.2	21,911	4.9	367,510	12.5	293,817	11.6	0.77	38	▲44.1	27,246	5.0	19,859	7.8
2014.4	1,327	▲13.4	1,681	5.8	302,569	▲2.2	253,488	▲7.9	0.92	2	0.0	28,004	5.3	20,001	8.6
5	1,434	▲8.5	1,703	8.9	275,034	7.3	292,638	11.1	0.93	2	▲33.3	28,114	6.1	20,170	9.0
6	1,733	1.5	1,968	▲0.7	537,948	▲15.0	317,899	13.0	0.96	6	100.0	27,993	4.3	20,106	8.0
7	1,794	▲5.5	1,810	▲6.9	332,763	3.9	264,040	3.3	0.94	1	▲80.0	27,669	4.0	20,249	7.9
8	1,512	2.8	1,552	▲7.4	282,635	▲18.0	248,370	▲11.5	0.95	3	▲25.0	27,773	3.8	20,387	7.9
9	1,882	▲7.7	2,058	4.1	269,116	▲13.8	229,192	▲17.7	0.94	2	100.0	27,865	4.4	20,810	9.2
10	1,532	▲14.9	1,553	5.6	318,005	▲11.4	221,251	▲28.5	0.96	5	▲37.5	27,749	4.5	20,672	8.6
11	1,435	▲23.5	1,797	4.6	249,591	▲13.4	285,468	▲12.1	0.98	2	0.0	27,926	4.3	20,998	8.2
12	1,339	▲14.6	1,977	2.3	471,376	▲31.4	291,759	▲31.5	0.99	2	100.0	28,395	4.2	21,550	8.5
2015.1	1,614	▲29.2	1,805	▲18.2	255,919	▲13.7	251,962	▲24.7	0.97	1	▲66.7	28,205	3.9	21,407	8.3
2	1,929	▲22.9	2,175	▲13.7	354,426	3.7	251,589	▲6.3	0.97	2	▲71.4	28,425	4.2	21,529	8.5
3	2,499	▲22.7	2,602	▲6.4	308,207	21.4	301,847	▲2.0	0.98	1	▲85.7	28,933	4.6	21,862	7.9
4	1,225	▲7.7	1,326	▲21.1	339,393	12.2	275,984	8.9	0.99	5	150.0	29,066	3.8	21,657	8.3
5	1,364	▲4.9	1,320	▲22.5	268,686	▲2.3	281,931	▲3.7	1.01	4	100.0	29,131	3.6	21,890	8.5
出所	日本自動車販売協会連合会		全国軽自動車協会連合会		総務省				厚生労働省		東京商工リサーチ		日本銀行		

(注) 掲載指標についての説明は全国の注釈参照。

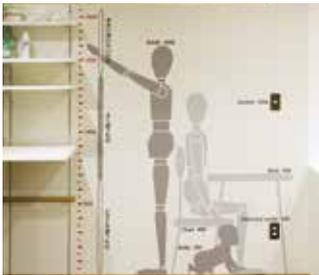
項目 年月	鉱工業生産指数(2010年=100)										鉱工業出荷指数 (2010年=100)		鉱工業在庫指数 (2010年=100)	
	総合		電気・情報通信		電子部品		窯業・土石製品		食料品		季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)
	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)				
2011年	92.3	▲7.7	82.5	▲17.6	81.6	▲18.4	85.6	▲14.4	98.0	▲2.0	95.4	▲4.6	116.7	16.7
2012年	88.7	▲3.9	106.1	28.7	61.7	▲24.4	78.3	▲8.5	101.5	3.6	94.2	▲1.3	106.4	▲8.8
2013年	87.5	▲1.4	120.3	13.4	49.8	▲19.4	89.7	14.5	102.9	1.3	91.6	▲2.8	121.0	13.7
2014.4	86.3	▲3.0	108.5	▲9.1	45.3	▲19.0	86.1	▲6.0	105.0	1.1	85.2	▲6.0	138.1	8.5
5	91.5	2.3	110.6	▲17.3	48.8	▲11.5	91.6	4.4	108.8	3.7	93.3	▲3.9	134.7	11.1
6	88.8	3.5	125.9	0.5	42.9	▲10.2	84.6	▲2.0	104.3	3.7	88.6	▲0.3	140.6	18.4
7	88.6	1.8	108.4	▲14.5	43.2	▲9.4	83.7	▲0.9	107.7	4.7	90.4	▲1.0	131.5	10.8
8	83.2	▲2.6	114.0	6.7	39.7	▲17.2	92.9	7.5	100.1	▲3.5	86.4	▲5.9	131.8	7.1
9	86.5	▲1.6	107.3	▲19.6	42.7	▲8.2	86.8	2.1	99.5	▲3.0	90.4	▲1.8	122.5	▲2.6
10	88.9	0.8	108.3	▲7.9	46.2	▲1.5	95.8	8.0	101.8	▲1.2	90.2	0.3	123.0	▲3.9
11	90.0	▲0.1	72.9	▲40.5	50.9	9.4	102.8	12.8	102.4	▲1.5	90.6	▲5.7	124.3	1.7
12	88.2	▲0.2	72.9	▲25.5	52.6	15.6	98.1	2.3	102.0	▲2.0	88.4	▲1.8	129.4	1.4
2015.1	91.2	▲1.6	78.1	▲20.3	55.7	19.4	114.5	13.2	104.4	▲4.3	93.5	▲4.1	136.1	6.5
2	89.8	▲3.1	85.9	▲18.8	56.5	20.8	101.6	5.7	104.4	▲4.7	93.2	▲1.9	133.7	1.3
3	88.4	2.5	70.6	▲18.6	55.3	18.6	107.2	24.9	106.1	▲0.3	89.7	▲1.9	130.0	2.9
4	87.6	1.5	90.2	▲16.8	52.1	15.1	104.7	21.5	97.5	▲7.2	88.7	4.1	137.1	▲0.7
5														
出所	鹿児島県統計課													

項目 年月	貿易		公共工事 保証請負金額		建築着工統計 工事費予定額 (非居住用)		新設住宅着工戸数				消費者物価指数 (2010年=100) 鹿児島市		大型小売店 販売額		
	輸出金額	輸入金額	億円	前年比(%)	億円	前年比(%)	合計	持家	貸家	分譲	指数	前年比(%)	百万円	前年比(%)	
	前年比(%)	前年比(%)					戸	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)					
2011年	51.4	7.5	2,006	▲7.8	932	13.5	9,039	4.3	6.0	▲7.0	56.0	99.7	▲0.3	164,957	2.0
2012年	▲25.7	▲5.2	2,376	18.4	1,063	14.0	9,701	7.3	▲3.0	21.8	1.8	99.3	▲0.4	162,863	▲1.3
2013年	81.1	21.6	2,494	5.0	1,075	1.1	11,307	16.6	20.2	17.5	1.4	99.4	0.1	162,842	▲0.0
2014.4	▲30.7	17.2	168	7.7	86	48.6	747	▲34.4	▲28.7	▲40.4	▲26.9	101.8	2.8	11,530	▲9.9
5	▲24.8	▲17.5	192	25.4	60	5.3	666	3.4	▲19.1	28.6	94.1	102.1	3.0	12,858	▲2.7
6	1.2	▲12.5	173	▲15.7	65	▲69.4	888	▲1.8	▲16.1	6.7	50.0	101.9	2.6	12,089	▲3.6
7	19.8	67.4	254	23.0	61	▲33.8	535	▲44.2	▲35.4	▲45.0	▲75.3	102.3	2.8	14,507	▲0.7
8	▲15.5	▲15.9	222	▲22.0	65	▲19.8	965	▲2.8	▲25.8	57.0	▲38.8	102.5	2.7	13,242	1.1
9	908.3	▲17.0	256	▲13.4	84	18.5	882	▲21.2	▲27.5	▲13.1	▲19.0	102.8	2.8	11,707	▲1.9
10	23.5	▲21.4	257	5.6	150	116.2	915	▲11.8	▲17.6	▲1.4	▲35.3	102.8	2.7	13,325	▲0.6
11	13.3	▲26.5	171	▲13.3	106	79.0	1,106	7.8	▲23.5	30.6	136.4	102.2	2.2	14,412	1.2
12	16.2	▲9.3	150	▲22.3	49	▲53.2	986	▲15.8	▲36.1	▲17.4	145.8	102.5	2.4	19,046	0.1
2015.1	▲4.3	▲25.9	103	▲35.3	58	28.0	683	24.4	▲3.4	39.8	116.4	102.1	2.2	12,742	▲1.1
2	▲17.4	▲39.3	97	6.8	58	▲33.8	788	▲14.2	▲7.4	▲20.6	0.0	101.8	2.2	11,134	0.3
3	16.5	▲22.3	151	▲33.8	71	▲33.6	770	▲6.4	▲14.1	39.3	▲60.8	102.5	2.4	13,622	▲13.9
4	▲16.7	▲37.3	145	▲13.7	113	31.4	927	24.1	25.8	26.9	▲26.3	102.9	1.1	12,722	10.3
5	▲21.7	▲4.6	121	▲36.9	60	▲0.6	799	20.0	3.3	20.8	58.6	103.3	1.2	13,315	3.6
出所	財務省		西日本建設業保証		国土交通省				総務省		九州経済産業局				

項目 年月	乗用車				家計消費支出(勤労者世帯) 鹿児島市				有効求人 倍率	倒産件数	預金残高		貸金残高		
	乗用車新規登録台数		軽乗用車販売台数		可処分所得		消費支出				億円	前年比(%)	億円	前年比(%)	
	台	前年比(%)	台	前年比(%)	円	前年比(%)	円	前年比(%)	倍	件	前年比(%)	億円	前年比(%)	億円	前年比(%)
2011年	25,305	▲20.9	18,618	▲15.2	457,131	1.1	312,314	▲5.9	0.55	64	0.0	38,496	2.0	27,594	2.3
2012年	32,261	27.5	26,228	40.9	438,338	▲4.1	331,023	6.0	0.65	72	12.5	39,277	2.0	28,174	2.1
2013年	30,442	▲5.6	27,432	4.6	465,539	6.2	338,203	2.2	0.71	76	5.6	41,032	4.5	29,574	5.0
2014.4	1,862	▲6.1	1,992	1.0	354,761	▲24.4	331,374	▲18.3	0.74	4	0.0	42,135	4.2	29,894	6.9
5	1,945	▲1.5	2,024	2.8	335,628	4.5	317,098	▲2.8	0.75	5	▲37.5	41,783	4.5	29,971	6.6
6	2,364	7.5	2,221	5.1	606,828	▲2.0	294,463	8.3	0.75	7	0.0	41,822	2.9	30,050	5.9
7	2,956	19.7	2,293	▲10.8	483,208	▲10.2	339,313	▲15.2	0.75	5	▲70.6	41,316	2.9	30,224	5.8
8	2,192	7.0	1,925	▲8.0	405,388	▲11.0	296,298	▲7.6	0.75	6	0.0	41,843	3.6	30,402	6.3
9	2,724	▲5.2	2,480	▲3.3	384,746	2.6	308,957	0.7	0.77	8	166.7	41,672	3.5	30,625	6.4
10	2,218	▲9.2	1,861	▲3.2	423,829	1.1	330,892	▲1.3	0.78	5	0.0	41,522	3.0	30,887	6.8
11	2,359	▲17.8	2,051	7.6	363,303	▲3.9	295,976	▲10.7	0.80	7	75.0	41,802	3.1	31,271	7.2
12	2,272	▲11.1	2,853	32.3	746,325	▲9.1	352,025	▲5.0	0.81	2	▲71.4	42,403	3.3	31,603	6.9
2015.1	2,209	▲24.0	2,443	▲6.9	372,460	▲1.1	289,928	▲9.4	0.80	8	0.0	42,195	4.0	31,538	6.8
2	2,524	▲21.2	2,683	▲12.4	415,248	3.9	277,486	▲12.2	0.85	4	▲63.6	42,631	3.9	31,629	6.7
3	3,808	▲14.0	3,462	▲10.5	416,805	18.6	322,134	▲24.7	0.86	6	▲14.3	42,749	3.3	31,743	5.9
4	1,863	0.1	1,669	▲16.2	389,337	9.7	325,575	▲1.7	0.87	8	100.0	43,802	4.0	31,625	5.8
5	1,798	▲7.6	1,698	▲16.1	365,368	8.9	336,126	6.0	0.88	7	40.0	43,505	4.1	31,715	5.8
出所	日本自動車販売協会連合会		全国軽自動車協会連合会		総務省				厚生労働省		東京商工リサーチ		日本銀行		

(注) 掲載指標についての説明は全国の注釈参照。

お気軽に
お越しください。
福岡銀行の
建築士がご相談を
無料で承ります。



収納体験コーナー

可動式の収納棚で、奥行きや高さの違いによる使い勝手を体験できます。



間取り・インテリア シミュレーション

間取り・インテリアのシミュレーションができます。



写真コーナー

自由にパネルを引き出して、住まいの構造やインテリアテイストを写真でご覧いただけます。

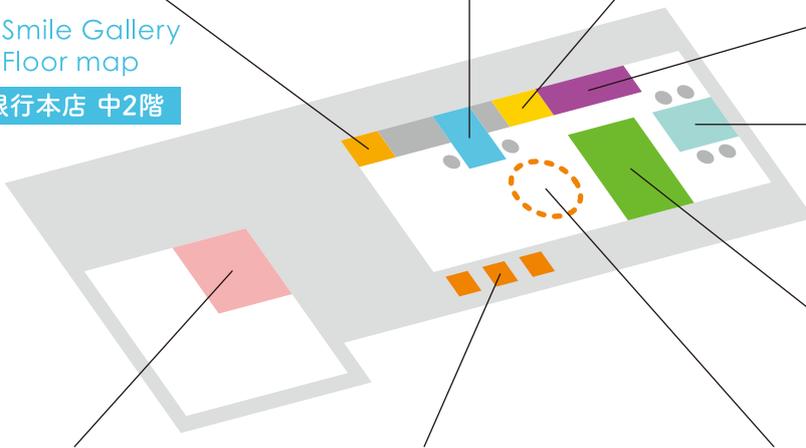


サンプル・カタログ・ 図書コーナー

住まいづくりに関するサンプル・カタログ・本を自由にご覧いただけます。



福岡銀行本店 中2階



相談コーナー

建築士が無料で住まいづくりのご相談を承ります。



キッズスペース

お子様が楽しく遊べる専用スペースをご用意しました。



模型コーナー

立体模型を展示しています。



セミナースペース

住まいづくりに役立つセミナーを随時開催しています。日程や内容については、スタッフまでお問い合わせください。



空間体験コーナー

スクリーンを利用して、4.5畳・6畳など空間の大きさ、ドアノブやスイッチの高さなどを体感できます。

福岡銀行

平成27年7月31日現在

住まいの購入やリフォームはわからないことがいっぱい！
 住まいづくりの『？』や『🌀』(困った)を『😊』に。



住まいるギャラリー

FUKUOKA BANK SMILE GALLERY

あなたの疑問・不安を福岡銀行の建築士が解決します。住まいに関すること、なんでもお気軽にご相談ください。

1

住宅の専門家に相談できる！

- 住まいの購入について
- リフォームについて
- インテリアについて
- 間取り・パース(完成予想図)の作成

建築士がお手伝いします。

※受付状況によってお待ちいただくことがあります。



ステップに応じて住まいづくりをサポートする「住まいる手帳」。住まいるギャラリーで相談する際はもちろん、打合せメモとしてもご活用ください。

2

情報収集できる！

- 住まいの本・インテリア雑誌
- カタログ・サンプル
- 建築模型

ご自由にご覧になれます。



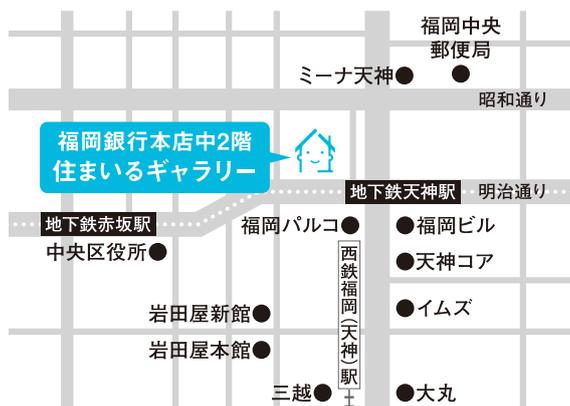
3

セミナーで学べる！

住まいの購入やインテリアを学ぶセミナーを、定期的に開催しています。

【セミナー例】

- ◎ マイホーム購入の第一歩 ～住宅購入の流れと資金計画～
- ◎ 住宅展示場・モデルルーム見学のポイント
- ◎ 築年数別に考える住まいのリフォーム・メンテナンス など



お問い合わせ



住まいるギャラリー

FUKUOKA BANK SMILE GALLERY

〒810-8727 福岡市中央区天神2-13-1 福岡銀行本店中2階
 【営業時間】 平日／9:00～17:00 土曜／10:00～17:00
 ※12月31日～1月3日はお休みさせていただきます。

TEL 092-723-2290
<http://www.fukuokabank.co.jp>

あなたのいちばんに。



ふくおかフィナンシャルグループ

住まいるギャラリーでは住宅の販売・契約は行っておりません。お客さまにご満足いただける住まいのご提案に努めます。



神聖なるガンジス川の中流「ワラーナシー」

ワラーナシーの歴史は大変古く、インドの古代王国では首都として、政治、経済、宗教の中心地と栄え、ヒマラヤを水源とするガンジス川が流れています。

年間100万人を超える参拝者が訪れ、ガンジス川河岸約500kmに渡って伸びる階段状の場所で身を清め、寺院に参拝します。

夜明けから人々が集まり沐浴し、空が赤く染まり美しい光景の中、祈りを捧げる姿が見られます。

バンコク駐在員事務所 佐々木





[Data]

インド 基礎データ

面積	328万7,469平方km
人口	12億1,057万人(2011年)
首都	ニューデリー
G D P	1兆8,768億ドル(2013年)
総貿易額	輸出: 3,106百万ドル 輸入: 4,480百万ドル
主要貿易品目(2014年)	
輸出	石油製品、宝石類、機械機器
輸入	原油・石油製品、金、機械製品

博多祇園

山笠



7月15日に無事奉納を終えた「博多祇園山笠」。
770年余の歴史と伝統を有し、勇壮豪快な昇き山は
見るものを圧倒します。今回は、櫛田神社公認の山笠フオ
トグラファー八田さんをナビゲーターに迎え、7月1日から
15日の追い山までの熱気あふれる15日間をたどります。

写真提供：八田公子・三宮正勝



熱血!
15日間

瞬間の刻



ナビゲーター やっだ きみこ 八田 公子

博多出身、在住、櫛田神社公認、博多カレンダー
や西日本新聞社フクオカ・ビーキの撮影など
フリーの写真家。
2014年山笠の写真で二科写真展にて受賞。
福岡市美術連盟会員。

7月1日 早朝 注連下ろし

「昇き山笠の流区域を清める行事で、櫛田神社の神職が祝詞を奏上します。恵比寿流のみ、他の流より1カ月早い6月1日に行われます」

7月1日 朝 ご神入れ／飾り山笠公開

「飾り山笠に神様を招き入れ、山笠を神の依代とします。飾り山笠の公開が始まると、福博の街は祭り気分一色になります。昇き山笠のご神入れは6、7日頃になります」

7月1日 夕 当番町お汐井とり

「その年の当番町が法被に締め込み姿で笠崎宮・箱崎浜まで行き、お汐井(真砂)をテボ(竹ひごで編んだかご)や升に入れて持ち帰ります。お汐井は、自宅の玄関先に吊るし、出かける時に身に振りかけて清めます」

7月9日 夕 全流お汐井とり

「当番町お汐井とりと同じですが、各流の昇き手が揃い圧巻です。各流ごとに、海に向かって頭に巻いた手拭いを取り拍手を打って安全を祈願します。帰りに笠崎宮と櫛田神社に参拝します」



ご神入れ



全流お汐井とり



7月10日 **夕** 流昇き

「いよいよ昇き山笠が動き出します。七流の山笠がそれぞれの区域内を走り、昇き出し時刻は午後4時から午後6時までと流によって異なります」



天女降臨

もひとつ、シャンシャン

よーお、シャンシャン

博多手一本！



7月11日 早朝 朝山

「早朝に町総代や旧役員を呼んで接待するところから祝儀山とも呼ばれます。当番町の子どもたちはこの日だけ山笠の杉壁の中に乗せてもらえます」

7月11日 夕 他流昇き

「11日は早朝と夕方、2回昇きます。各流の昇き山笠が区域外に出て、他の区域で疾走します。また、公共施設等に昇き入れる事も多く、東流はJR博多駅、千代流は福岡高校や福岡県庁に昇き入れます」

祝うて三度
シヤシヤン、シヤン

7月12日(午後3時59分) 追い山ならし

「追い山のリハーサルで、一番山笠から櫛田入りし、奈良屋町角の廻り止め(ゴール)までの約4kmのコースを全力で昇ります。一番山笠は追い山同様、櫛田神社の境内を回った後、博多祝い唄を唱和します」



7月13日(午後3時30分) 集団山見せ

「福博の政財界で活躍する知名士や博多に貢献した人が台上がりを務めます。呉服町交差点からスタートし、福岡市役所前で折り返し、冷泉公園北西角までの約2.1kmを走り抜けます」



7月14日 夕 流昇き

「午後4時から5時にかけて大黒、中洲、西、恵比寿、土居、5つの流が流区域内を昇きます。追い山まで半日ほどですが、気力を振り絞って本番前最後の奉納をします」

7月15日(午前4時59分) 追い山

「大太鼓の合図とともに一番山笠から順次、櫛田入りをします。その後、境内を出て約5kmの追い山コースを昇き、終点の廻り止めに無事に到着すると、歓声が湧きます。追い山が終わった櫛田神社では午前6時から、「鎮めの能」が行われ、山笠は“動”から“静”へと変わります」



博多祇園山笠 | 番外編 |

博多の伝統的な祭りである山笠には紹介したもの以外にもたくさんの行事が行われています。
山笠は今も人の生活に寄り添い、息づいている祭りなのです。



夏祈禱

「博多祇園山笠の発祥の地・承天寺で6月2日に行われます。山笠振興会の役員や各流の総務が出席し、山笠の安全と成功を祈願します」

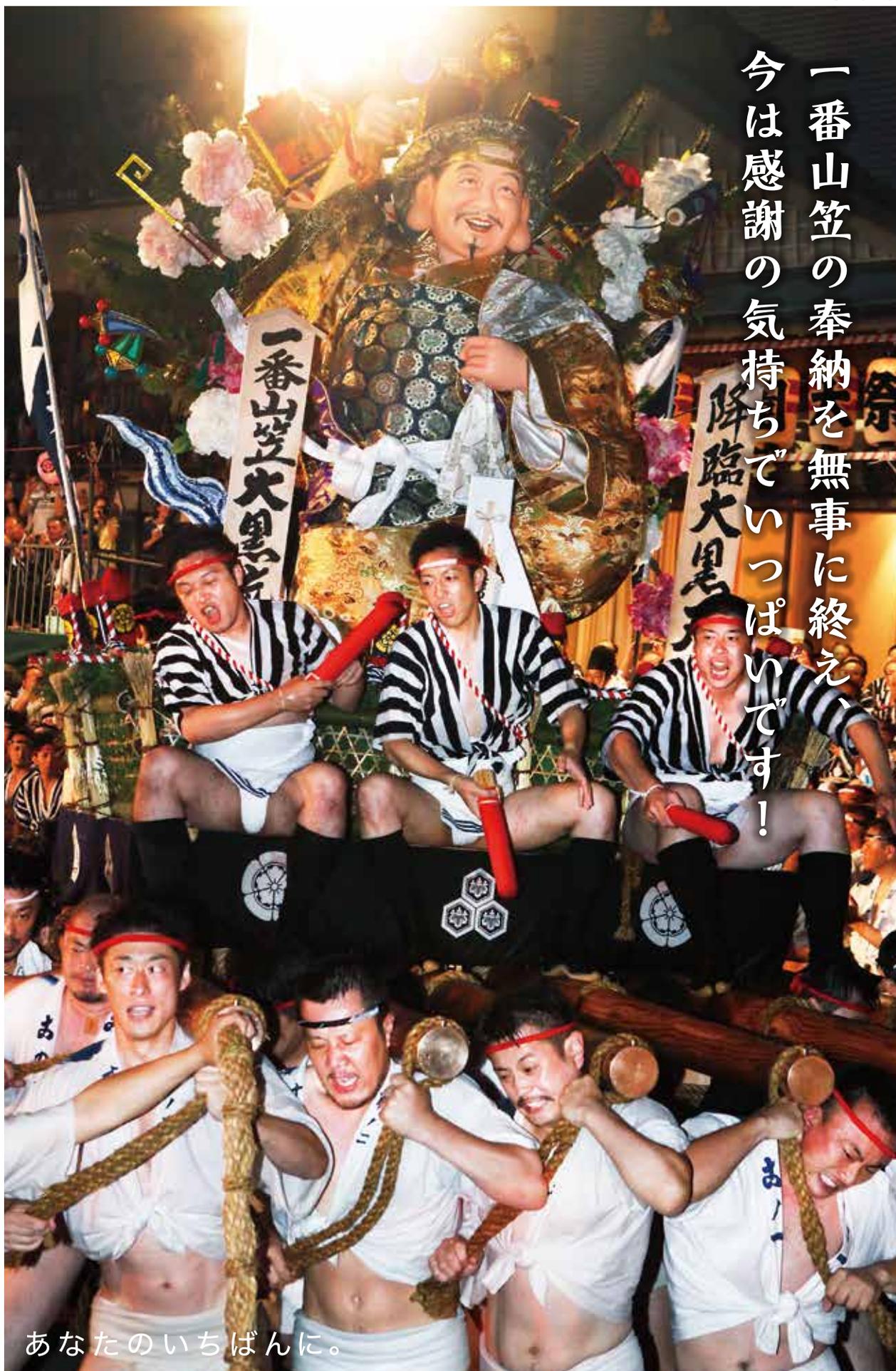
追善山笠

「流によって、しきたりや日時は異なりますが、流や町に貢献した人をしのんで、慰霊するため舁き山を自宅前などに舁き入れる行事があります。臨時に設けられた祭壇には、生前愛用していた当番法被や遺影などが飾られています」



子供山笠

「7月初めの土日を中心に子供山笠が行われます。参加するのは、博多小学校、千代小学校、新天町の3つ。大人の舁き山笠の半分程度の山笠を掛け声も勇ましく舁きます」



一番山笠の奉納を無事に終え、
今は感謝の気持ちでいっぱいです！

あなたのいちばんに。

2015.7.15 04:59

大黒流 川端町 取締



奥蘭さんと息子さん三人のオフショット

profile

奥蘭 慶

OKUZONO KEI

大黒流 川端町 取締

九州の達人
Master of Kyushu

| 12 |

頑張るあなたを紹介するコーナーです



84年に一度の一番山笠

今年、博多祇園山笠の追山で台上りを務めた大黒流川端町の取締・奥蘭さん。大黒流は十二ヶ町で構成され、一番山笠の当番町は84年に二度しか回ってこない。つまり、今回の一番山笠で台上りを務めることは奇跡に近く、栄誉なことだ。

「0歳の時から祖父に抱えられて山笠に出ていました。山笠は人、そして地域との繋がりが深い祭りです。自分をここまで育ててくれた山笠に感謝しています」

今では奥蘭さんの二人の息子も山笠に参加する。山笠への熱い思いは次の世代へと受け継がれていく。

博多祇園山笠…水法被の子ども



 福岡銀行



 熊本銀行



 親和銀行